平成８（１９９６）年度

福岡市埋蔵文化財センター年報

第１６号

１９９７

福岡市教育委員会

序

福岡市は、古来より大陸文化流入の門戸として、これまで歴史的な繁栄を続けてまいりました。このため、市域には各時代にわたる大規模な遺跡が数多く遺されており、近年の都市膨張に伴う各種開発で多くの緊急発掘調査が行われた結果、多量の出土品とともに写真・図面などの記録類が現出しました。教育委員会では、これらの資料が散逸することなく保管され、市域の歴史を紐解く素材として市民の方々にも十分に活用していただけるための施設として埋蔵文化財センターを設立しました。

ところで、本センターは昭和５７年の開館以来１３年目を迎え、施設として資料の収容能力も限界に達したところから、現在、施設の増築・改造計画を進めているところです。

さて、平成８年度は、市内で発掘調査された遺跡のうち、博多遺跡群第６次調査をはじめとする出土品や記録類が本収蔵されました。この結果、本年度末までに本収蔵された遺跡数は607遺跡で、資料数にして約３３万８千点にのぼります。

つきましては、これらの資料が市民の皆様方に積極的に利用され、市域の悠久な歴史を理解するための一助となるよう希望いたします。

平成９年12月３日

福岡市教育委員会 教育長　町　田　英　俊

目　次

序

Ⅰ．平成８(1996)年度の活動

１．資料の収蔵・整理

（１）収蔵方針……P１

（２）平成８(1996)年度の本収蔵作業……P１

２．遺物保存処理

（１）平成８年度作業の記録……P５

１）木　器……P５

２）金属器……P７

（２）付論：雀居遺跡５次調査出土の木製品について……P11

３．教育普及活動……P19

Ⅱ．埋蔵文化財センターの概要……P26

例　言

1.本書は、平成8(1996)年度の福岡市埋蔵文化財センターの業務年報である。

2.内容にかかる原稿作成は、1.資料の収蔵・整理を二宮忠司・横山邦継、2.遺物保存処理を比佐陽一郎、3.教育普及活動を吉留秀敏が担当した。

3.本書の編集は、当センター長 折尾 学が行った。

※ 表紙写真は、小型銅鏡鋳型で、面径10㎝を計る。裏面には鋸型を刻む。井尻B遺跡第6次調査出土。弥生時代後期。

Ⅰ　平成８（1996）年度の活動

１．資料の収蔵・整理

（1）　収蔵方針

福岡市教育委員会文化財部の調査事業担当課である埋蔵文化財課・文化財整備課などが市内の緊急調査や史跡整備に伴う確認調査などで得た出土遺物や写真・図面などの記録類は膨大な量におよび、これらの散逸を防ぎ、収蔵管理するための施設として昭和57年に当埋蔵文化財センター（以下「センター」という）が建設された。

ところで、これらの発掘調査され、調査報告書が作成された考古資料についてはすみやかに一般公開され、広く市民や研究者などに活用されてこそ、文化財保護法の基本理念である国民共有の財産としてその価値があると考えられるものである。

この様な見地にたって、当センターと調査事業担当課ではこれらの考古資料の多様な活用が可能となることを目標として、昭和６０(1985)年に『埋蔵文化財資料の収蔵・整理要項』(『福岡市埋蔵文化財年報』第５号所収。以下『収蔵要項』という。)を策定した。

この収蔵要項は、後に細部の改変はなされたものの基本的な変更は少なく、策定後、調査事業担当課ではこれに沿って発掘調査と整理作業が並行して行われ、当センターへの円滑な本収蔵が行われている。

（2）平成８(1996)年度の本収蔵作業

当センターに本収蔵される資料には、調査事業担当課である埋蔵文化財課・文化財整備課によって調査報告書が刊行され、収蔵要項に沿って整理が行われた資料と過去に調査報告書は刊行されているが出土遺物・記録類ともに当センターに仮収蔵となっている遺跡を、当センターで本収蔵作業をした資料とがある。

平成８年度の本収蔵資料は、Tab.１に見られるように、調査業務担当課である埋蔵文化財課・文化財整備課で収蔵整理作業の終了した博多遺跡群第62次調査など67遺跡の出土遺物と写真・図面などの記録類が搬入され、本収蔵された。

また、当センターに仮収蔵されている資料のうち蒲田水ヶ元遺跡第１次調査（東区）など12遺跡の出土遺物と写真・図面などの記録類が当センターで整理され、本収蔵された。(Tab.２)

今年度までに当センターに本収蔵された遺跡の総数は、607遺跡となる。その内訳は、収蔵コンテナ数35,439箱(ｿｰﾄｷｬﾋﾞﾈｯﾄ数を含む)、登録遺物件数334,689点、甕棺1,002個(註1)で、これに記録類などを加えると収蔵資料の総数は580,362点となった。(Tab.３)

これらの本収蔵された資料は、それぞれが番号登録され、「調査資料台帳」に記入されるので遺跡ごとの資料総数や内容が即座に把握できる。

また、発掘調査報告書に掲載されている遺物図面・写真・遺構図面類などについては、検索システム(ﾋﾞｼﾞﾌﾞﾙｺｰﾀﾞｰ)によって収蔵位置を容易に検索することができる。

さらに、平成８年度までに刊行された調査報告書（福岡市埋蔵文化財調査報告書）は、546冊であるが、平成８年度に検索が可能となった調査報告書・出土遺物・記録類は、Tab.１に見るように

61冊であり、これで既刊行の調査報告書のうち約７割の検索が可能となった。

また、福岡市が市域の発掘調査を開始してから平成８年度までの調査遺跡総数は、1,308箇所であるが、これらのうち約５割にあたる607箇所の遺跡が本年度までに本収蔵された。

(注1) 大型甕棺は、ｺﾝﾃﾅに換算すると12箱分に相当する。

Tab. 1　平成8年度本収蔵遺跡一覧　①

番号	調査番号	適応	報告書	遺跡名	担当者	登録遺物点数	甕棺数	ｺﾝﾃﾅ数	ｿｰﾄｷｬﾋﾞﾈｯﾄ	モノクロフィルム			カラースライド			原図		カード		ﾏｲｸﾛﾌｨﾙﾑ数
										35㎜	6×7	4×5	35㎜	6×7	4×5	遺構	遺物	遺物	写真	
96001	9343	埋文本収	400	東那珂遺跡群1次	吉武　学	367	0	76	0	6	190	0	60	78	0	65	59	234	102	0
96002	9226	埋文本収	382	東入部遺跡群5次	吉武　学	89	0	9	0	4	20	0	65	0	0	26	6	43	16	0
96003	9065	埋文本収	316	福岡城月見櫓	吉武　学	54	0	32	0	0	50	0	0	0	0	15	8	25	24	0
96004	8865	埋文本収	237	福岡城跡第11次	吉武　学	23	0	16	0	7	82	0	112	74	0	32	1	6	58	0
96005	9133	埋文本収	422	四箇船石遺跡群4次	吉留　秀敏	321	0	27	0	36	0	112	0	0	0	24	32	164	26	0
96006	9057	埋文本収	422	浦江B遺跡群1次	吉留　秀敏	9	0	1	0	3	0	0	34	0	0	5	1	4	4	0
96007	9204	埋文本収	413	野多目B遺跡群4次	吉留　秀敏	126	0	9	0	13	284	0	279	195	0	66	15	58	181	0
96008	9313	埋文本収	413	和田B遺跡群1次	吉留　秀敏	196	0	20	0	49	751	0	1,429	739	0	257	28	107	864	0
96009	9209	埋文本収	467	次郎丸遺跡群1次	山口　譲治	584	0	47	0	1	926	0	0	0	0	78	91	0	466	0
96010	9233	埋文本収	467	次郎丸高石遺跡群2次	山口　譲治	79	0	4	0	4	108	0	0	0	13	50	13	0	75	0
96011	9457	埋文本収	458	井相田C遺跡群5次	吉武　学	62	0	11	0	1	19	0	32	10	0	21	7	0	16	0
96012	9406	埋文本収	460	東那珂遺跡群2次	吉武　学	87	0	23	0	3	39	0	57	17	0	16	20	0	35	0
96013	9437	埋文本収	455	那珂遺跡群48次	吉武　学	214	0	26	0	2	65	12	53	24	12	41	52	0	52	0
96014	9447	埋文本収	464	吉塚遺跡群2次	吉武　学	228	0	26	0	3	37	0	54	4	0	20	28	0	38	0
96015	9416	埋文本収	463	福岡城跡第26次	吉武　学	87	0	16	0	2	50	0	51	26	0	14	19	0	44	0
96016	9309	埋文本収	448	博多遺跡群80次	吉武　学	3,108	0	622	0	24	594	0	448	204	0	171	217	0	462	0
96017	9252	埋文本収	478	姪浜遺跡群3次	長家　伸	1,817	6	165	0	12	454	1	226	180	0	40	143	0	255	0
96018	9229	埋文本収	453	比恵遺跡群43次	山崎　龍雄	844	0	74	0	20	426	0	278	32	0	57	104	0	232	0
96019	9413	埋文本収	457	天神森遺跡群3次	松村　道博	300	25	58	0	11	333	0	291	94	0	62	97	0	189	0
96020	9402	埋文本収	457	下月隈B遺跡群2次	松村　道博	100	0	7	0	2	42	0	51	10	0	28	4	0	26	0
96021	9123	埋文本収	481	大原D遺跡群1次	松村　道博	243	0	37	0	10	239	0	228	87	3	108	56	0	137	0
96022	9214	埋文本収	481	大原D遺跡群2次	松村　道博	478	0	104	0	7	122	0	104	64	0	52	83	0	73	0
96023	9341	埋文本収	446	蒲田部木原遺跡群3次	大庭　康時	948	0	60	0	13	248	4	283	277	4	108	31	0	148	0
96024	9442	埋文本収	443	博多遺跡群87次	大庭　康時	871	0	73	0	4	163	0	37	77	0	13	39	0	85	0
96025	9445	埋文本収	459	箱崎遺跡群6次	宮井　善朗	477	0	38	0	2	45	0	63	45	0	18	30	0	53	0
96026	9461	埋文本収	442	比恵遺跡群55次	宮井　善朗	291	0	17	0	2	60	0	47	32	0	19	29	0	33	0
96027	9310	埋文本収	445	持田ヶ浦古墳群D群2次	宮井　善朗	156	0	11	0	13	188	0	213	185	0	57	33	0	120	0
96028	9342	埋文本収	449	博多遺跡群82次	宮井　善朗	1,327	0	84	0	8	141	0	135	88	0	31	46	0	95	0
96029	8305	埋文本収	471	有田遺跡群77次	井澤　洋一	825	0	42	0	70	134	0	927	0	0	99	73	0	191	0
96030	8215	埋文本収	471	有田遺跡群74次	井澤　洋一	656	0	38	0	62	157		682	55	0	106	82	0	168	0
96031	8940	埋文本収	379	飯倉F遺跡群1次	瀧本　正志	162	0	43	0	5	235	0	218	0	0	22	10	0	75	0
96032	8955	埋文本収	345	羽根戸古墳群Q群	瀧本　正志	120	0	12	0	17	642	0	348	0	0	65	22	0	216	0
96033	8847	埋文本収	384	田村遺跡群8次	瀧本　正志	102	0	10	0	5	75	0	112	0	0	26	8	0	38	0
96034	9449	埋文本収	477	三苫遺跡群2次	榎本　義嗣	763	0	46	0	12	200	0	250	110	0	50	97	0	156	0
96035	9502	埋文本収	477	三苫遺跡群3次	長家　伸	2,870	0	118	0	24	429	0	396	194	0	65	100	0	200	0
96036	9253	埋文本収	479	今宿五郎江遺跡群4次	榎本　義嗣	454	0	128	0	3	131	0	36	22	0	8	126	0	70	0
96037	9462	埋文本収	462	長峰遺跡群2次	池田　祐司	31	21	12	0	6	125	0	8	41	0	11	21	0	77	0
96038	9438	埋文本収	455	那珂遺跡群49次	加藤　隆也	388	1	67	0	17	131	0	421	139	0	42	39	0	97	0
96039	9357	埋文本収	465	立花寺遺跡群3次	加藤　隆也	456	0	29	0	7	89	0	120	90	0	48	13	0	59	0
96040	9448	埋文本収	459	箱崎遺跡群7次	加藤　隆也	171	0	20	0	6	56	0	172	59	0	23	13	0	38	0
96041	7721	埋文本収	496	藤崎遺跡群2次	井澤　洋一	619	87	38	0	37	799	0	74	209	0	49	167	0	344	0
96042	9232	埋文本収	438	野方久保遺跡群4次	小林　義彦	513	0	63	0	10	339	0	201	0	0	34	52	226	182	0
96043	8716	埋文本収	年報9	浦田遺跡群2次	小林　義彦	35	3	12	0	3	28	0	57	0	0	9	12	0	19	0
96044	9212	埋文本収	417	長尾遺跡群1次	小林　義彦	644	1	73	0	9	324	0	201	0	0	43	69	316	173	0
96045	9410	埋文本収	469	カルメル修道院内遺跡4次	中村啓太郎	66	2	8	0	7	165	0	118	84	0	42	13	0	99	0
96046	9339	埋文本収	468	次郎丸遺跡群3次	中村啓太郎	361	1	52	0	4	375	0	79	49	0	33	53	0	193	0
96047	9356	埋文本収	419	藤崎遺跡群25次	中村啓太郎	38	6	15	0	4	94	0	79	38	0	22	24	0	55	0
96048	9439	埋文本収	466	立花寺遺跡群4次	中村啓太郎	263	0	12	0	2	152	0	32	12	0	37	10	0	80	0
96049	9440	埋文本収	484	西新町遺跡群8次	加藤　良彦	293	3	53	0	15	328	0	218	60	0	39	51	0	175	0
96050	9434	埋文本収	481	大原E遺跡群1次	加藤　良彦	111	0	6	0	5	10	0	76	6	7	10	4	0	13	0
96051	9265	埋文本収	481	大原D遺跡群3次	加藤　良彦	3,032	2	332	0	64	118	0	1,084	96	7	258	284	0	321	257
96052	9251	埋文本収	473	有田遺跡群170次	荒牧　宏行	420	0	17	0	6	111	0	27	43	0	78	17	0	69	0
96053	9338	埋文本収	473	有田遺跡群173次	荒牧　宏行	192	0	6	0	0	24	0	0	5	0	12	2	0	10	0
96054	9365	埋文本収	475	堀ノ内遺跡群1次	荒牧　宏行	520	0	43	0	2	122	0	64	10	0	29	18	0	65	0
96055	8319	埋文本収	137	藤崎遺跡群7次	井澤　洋一	138	28	9	0	22	74	0	201	0	0	31	38	48	27	0
96056	7819	埋文本収	497	金隈小津遺跡群1次	井澤　洋一	84	0	5	0	6	0	0	0	0	0	25	17	0	11	0
96057	9545	埋文本収	532	博多遺跡群93次	加藤　隆也	1,170	0	98	0	13	15	0	229	18	0	52	96	0	75	0
96058	9532	埋文本収	532	博多遺跡群91次	加藤　隆也	139	0	8	0	5	3	0	28	2	0	10	13	0	17	0
96059	9553	埋文本収	500	那珂遺跡群55次	加藤　隆也	513	0	10	0	7	11	0	188	10	0	28	5	0	49	0
96060	9517	埋文本収	531	蒲田部木原遺跡群4次	加藤　隆也	1,512	0	167	0	18	32	0	458	31	0	107	116	0	153	0
96061	9508	埋文本収	501	南八幡遺跡群6次	加藤　隆也	47	0	4	0	6	8	0	86	9	0	16	5	0	37	0
96062	9514	埋文本収	527	野多目A遺跡群4次	吉武　学	1,035	2	199	0	7	383	22	159	98	24	173	170	0	215	0
96063	9429	埋文本収	523	立花寺B遺跡群1次	吉武　学	66	0	11	0	3	36	0	68	24	0	13	10	0	23	0
96064	9560	埋文本収	528	南八幡遺跡群7次	宮井　善朗	260	0	12	0	2	10	0	17	9	0	8	46	0	7	0
96065	9501	埋文本収	529	井尻B遺跡群6次	宮井　善朗	750	0	49	0	4	87	0	150	101	0	32	50	0	44	0
96066	9431	埋文本収	528	雑餉隈遺跡群6次	宮井　善朗	328	0	20	0	3	55	0	95	55	0	31	58	0	34	0
96067	9604	埋文本収	501	麦野C遺跡群3次	宮井　善朗	87	0	4	0	1	14	0	18	14	0	12	9	0	9	0

1	7614	セ本収蔵	42	四箇遺跡群5次	柳田・二宮	264	0	6	0	120	129	48	249	0	0	32	31	64	174	0
2	7933	セ本収蔵	57	高畑遺跡群4次	横山・柳沢	800	0	43	0	10	529	19	8	10	0	3	68	352	330	0
3	7514	セ本収蔵	491	蒲田水ヶ元遺跡群1次	折尾	1,174	22	203	0	1	19	4	29	7	0	247	339	967	11	0
4	8451	セ本収蔵	491	香椎A遺跡群1次	折尾	27	0	17	0	2	0	0	3	0	0	0	0	0	3	0
5	8334	セ本収蔵	491	博多遺跡群23次	折尾	109	0	31	0	2	0	0	3	0	0	0	0	0	3	0
6	8444	セ本収蔵	491	梅ヶ崎遺跡群1次	折尾	4	0	4	0	2	0	0	4	0	0	0	0	0	3	0
7	7505	セ本収蔵	492	原遺跡群1次	折尾	868	0	70	0	20	242	275	24	446	0	88	210	835	299	0
8	7401	セ本収蔵	490	野方塚原遺跡群1次	折尾	879	4	52	0	13	100	42	1	0	0	34	163	836	106	0
9	8101	セ本収蔵	490	大塚遺跡群	折尾	0	0	0	0	5	0	0	0	156	0	2	0	0	8	0
10	7204	セ本収蔵	1021	浄泉寺遺跡群1次	松村・村岡	330	0	27	0	21	0	3	2	0	0	30	42	110	39	0
11	8426	セ本収蔵	187	吉武遺跡群7次	横山・下村	336	51	91	0	1	469	0	495	219	0	51	163	0	115	0
12	8431	セ本収蔵	138	藤崎遺跡群10次	井澤	131	5	22	0	10	65	0	6	0	0	21	16	0	49	0
				12遺跡	合　計	4,922	82	566	0	207	1,553	391	824	838	0	508	1,032	3,164	1,140	0

Tab. 2　平成8年度本収蔵遺跡一覧　②（埋文センター整理分）

Tab. 3 埋蔵文化財センター本収蔵資料一覧（1986～1996年度）

年度	種類	遺跡数	登録遺物点数	甕棺数	コンテナ数	ソートキャビネット数	モノクロフィルム			カラースライド			原図		カード	
							35㎜	6×7	4×5	35㎜	6×7	4×5	遺構	遺物	遺物	写真
							本	コマ	コマ	コマ	コマ	コマ	枚	枚	枚	枚
1986	既収蔵資料	14	4,475	0	306	7	341	1,691	154	3,410	442	96	560	485	2,983	1,560
	埋文・整備課搬入資料	4	3,579	0	749	0	57	1,336	1	1,334	128	0	352	239	1,089	781
	年度合計	18	8,054	0	1,055	7	398	3,027	155	4,744	570	96	912	724	4,072	2,341
1987	既収蔵資料	12	4,804	0	808	14	365	5,184	18	1,590	184	2	578	590	1,720	1,461
	埋文・整備課搬入資料	12	8,860	0	766	57	277	4,274	15	2,644	122	16	965	1,217	6,071	2,744
	年度合計	24	13,664	0	1,574	71	642	9,458	33	4,234	306	18	1,543	1,807	7,791	4,205
1988	既収蔵資料	5	11,301	73	736	28	229	4,338	929	4,569	819	0	883	1,150	5,419	2,994
	埋文・整備課搬入資料	39	14,479	40	1,170	84	586	8,509	10	6,570	293	0	1,790	1,908	7,998	4,862
	年度合計	44	25,780	113	1,906	112	815	12,847	939	11,139	1,112	0	2,673	3,058	13,417	7,856
1989	既収蔵資料	3	6,701	0	848	22	155	3,394	92	3,224	0	0	103	418	1,855	2,941
	埋文・整備課搬入資料	11	14,245	0	956	10	312	7,507	99	4,634	957	63	1,015	1,483	2,388	8,849
	年度合計	14	20,946	0	1,804	32	467	10,901	191	7,858	957	63	1,118	1,901	4,243	11,790
1990	既収蔵資料	29	10,291	2	739	2	298	2,891	20	4,658	467	8	719	955	5,839	2,111
	埋文・整備課搬入資料	61	43,231	15	2,211	0	1,436	18,009	487	17,542	2,821	76	3,064	3,363	17,674	10,077
	年度合計	90	53,522	17	2,950	2	1,734	20,900	507	22,200	3,288	84	3,783	4,318	23,513	12,188
1991	既収蔵資料	6	4,586	200	695	0	284	3,146	71	2,958	811	39	664	864	3,064	960
	埋文・整備課搬入資料	57	26,054	56	2,607	0	575	10,978	45	7,827	1,123	67	2,327	2,466	13,668	5,935
	年度合計	63	30,640	256	3,302	0	859	14,124	116	10,785	1,934	106	2,991	3,330	16,732	6,895
1992	既収蔵資料	15	8,034	38	1,273	21	254	2,958	12	4,810	187	18	560	911	3,438	1,898
	埋文・整備課搬入資料	78	33,210	99	3,421	3	746	13,526	6	12,000	1,472	55	3,455	3,072	10,829	6,986
	年度合計	93	41,244	137	4,694	24	1,000	16,484	18	16,810	1,659	73	4,015	3,983	14,267	8,884
1993	既収蔵資料	8	6,239	6	1,187	39	202	30	463	2,121	0	0	360	151	1,958	620
	埋文・整備課搬入資料	52	28,824	53	4,355	22	772	16,030	338	11,729	2,821	29	2,832	2,696	10,085	11,065
	年度合計	60	34,824	59	5,542	61	974	16,060	801	13,850	2,821	29	3,192	2,847	12,043	11,685
1994	既収蔵資料	9	7,286	3	981	1	135	1,026	106	2,192	68	11	297	401	1,083	1,032
	埋文・整備課搬入資料	42	17,379	118	1,838	4	482	8,753	44	8,134	1,692	0	1,979	2,165	7,455	4,744
	年度合計	51	24,665	121	2,819	5	617	9,779	150	10,326	1,760	11	2,276	2,566	8,538	5,776
1995	既収蔵資料	13	5,793	9	1,103	0	184	2,810	0	1,882	271	0	387	325	1,810	1,550
	埋文・整備課搬入資料	57	36,915	38	4,218	4	666	12,775	257	10,804	2,590	235	2,463	3,295	11,797	7,570
	年度合計	70	42,708	47	5,321	4	850	15,585	257	12,686	2,861	235	2,850	3,620	13,607	9,120
1996	既収蔵資料	12	4,922	82	566	0	207	1,553	391	824	838	0	508	1,032	3,164	1,140
	埋文・整備課搬入資料	68	33,720	190	3,588	0	761	11,797	151	12,327	4,235	70	3,292	3,305	1,231	7,793
	年度合計	80	38,642	272	4,154	0	968	13,350	542	13,151	5,073	70	3,800	4,337	4,395	8,933
計	既収蔵資料	126	74,432	413	9,242	134	2,654	29,021	2,256	32,238	4,087	174	5,619	7,282	32,333	18,267
	埋文・整備課搬入資料	481	260,257	609	25,879	184	6,670	113,494	1,453	95,545	18,254	611	23,534	25,209	90,285	71,406
	年度合計	607	334,689	1,022	35,121	318	9,324	142,515	3,709	127,783	22,341	785	29,153	32,491	122,618	89,673

集数	報 告 書 名	発行年度	調査番号
42	四箇周辺遺跡調査報告書 (1)	1976	7614
57	板付周辺遺跡調査報告書 (6)	1979	7933
137	藤崎遺跡Ⅲ	1985	8319
138	藤崎遺跡Ⅳ	1985	8431
187	吉武遺跡群－野方・金武線－	1987	8426
237	福岡城跡Ⅳ	1990	8865
316	月見櫓	1991	9065
345	羽根戸古墳群 2	1992	8955
379	飯倉F遺跡	1993	8940
382	東入部遺跡 2	1993	9226
384	田村Ⅸ	1993	8847
400	東那珂遺跡 1	1994	9343
413	野多目台遺跡	1994	9204,9313
417	長尾遺跡	1994	9212
419	藤崎遺跡 10	1994	9356
422	四箇船石 1	1994	9057,9133
438	野方久保遺跡 3	1994	9232
442	比恵 19	1995	9461
443	博多 49	1995	9442
445	持田ヶ浦 2	1995	9310
446	蒲田部木原	1995	9341
448	博多 51	1995	9309
449	博多 52	1995	9342
453	比恵 22	1995	9229
455	那珂 16	1995	9437,9438
457	下月隈天神森 Ⅲ	1995	9402,9404 9413,9424 9430
458	高畑14次・井相田5次	1995	9457
459	箱崎 4	1995	9448,9445
460	東那珂遺跡 2	1995	9406
462	長峰遺跡 2	1995	9462
463	福岡城赤坂門	1995	9416
464	吉塚遺跡 2	1995	9447
465	立花寺 3	1995	9357
466	立花寺 4	1995	9439
467	外環状道路関係調査報告書 (1)	1995	9209,9233
468	次郎丸遺跡	1995	9339

集数	報 告 書 名	発行年度	調査番号
469	カルメル修道院内遺跡	1995	9410
471	有田・小田部 24	1995	8215,8305 8306
473	有田・小田部 26	1995	9251,9338
475	堀ノ内遺跡 1	1995	9365
477	三苫遺跡 2	1995	9449,9502
478	姪浜遺跡 2	1995	9252
479	今宿五郎江4次、徳永古墳群1次、 丸隈山古墳群4次	1995	8808,9253 9355
481	大原D 1	1995	9123,9214 9265,9434
484	西新町遺跡 5	1995	9440
490	野方塚原遺跡、大塚遺跡第3次調査	1996	7401,8101
491	蒲田・水ヶ元遺跡 香椎A遺跡第1次調査 梅ヶ崎遺跡 博多遺跡群第23次調査	1996	7514 8334 8444 8451
492	原遺跡第一次の調査	1996	7505
496	藤崎遺跡第2次調査概報	1996	7721
497	金隈小津遺跡	1996	7819
500	那珂 17	1996	9553,9556
501	麦野C第3次 南八幡第6次	1996	9508 9604
523	立花寺B遺跡	1996	9429,9511 9621
527	野多目A遺跡 4	1996	9514
528	雑餉隈遺跡群	1996	9431,9560
529	井尻B遺跡 5	1996	9501
531	蒲田部木原4次	1996	9517
532	博多 59	1996	9532,9545
1021	浄泉寺遺跡	1974	7204
1029	干隈熊添古墳	1985	7808
年報9	浦田遺跡(早良区)	1996	8716
計	80遺跡 61冊		

Tab. 4 平成8年度に資料検索が可能となった遺跡一覧

2. 遺 物 保 存 処 理

（1）平成８年度作業の記録

1）木器（有機質遺物）

当センターでは昭和59年度以来、毎年ＰＥＧ－4000を使用するＰＥＧ含浸法を中心とした保存処理を行っている。平成8年度は14遺跡491点の保存処理を実施した。このうち雀居遺跡５次調査出土の116点は国庫補助事業によるものである。これについては別項を設け詳述する。

処理工程は以下の通りである。

①処理対象遺物の選定

②処理前の確認作業：写真撮影、状態の記録、処理カードの作成と記入

③ＰＥＧ含浸

④遺物の取り上げ、洗浄、乾燥

⑤処理後の点検作業：変形、破損が無いか点検し、処理カードに記入

⑥脱色・表面処理：メチルアルコールによる表面洗浄

⑦修復：エポキシ系接着剤による折損部の接合、エポキシ樹脂にマイクロバルーンを混入した材料による欠損の復元

⑧処理後写真の撮影

含浸は20％の溶液濃度から開始し、日々適量のＰＥＧを投入して濃度を高め、約８カ月で約100％の濃度に達した。その後数週間処理槽内での含浸を継続して、資料を取り出した。処理遺物の選定段階でＰＥＧ含浸法では問題の生じるおそれのある漆器、広葉樹の大型材等は避けたこともあり、全点特に問題の無い仕上がりであった。

この他に昨年度同様、比較的時代が新しくそれほど劣化していない針葉樹材の資料で、出土後自然乾燥された資料の強化処置を実施した。これらは木材組織の劣化が進んでおらず、また徐々に乾燥されたことから外形は保たれているが、表面が劣化して亀裂を生じているものなどがあることから、作業は全体の強化と表面の安定化を目的としている。博多遺跡築港線3次調査出土の265点を対象とし、濃度50～60％のＰＥＧ溶液に約１ヶ月含浸して処理を行った。

処理の対象となった資料の内容については、別添の一覧表を参照されたい。

また、処理の完了した資料は埋蔵文化財センターの特別収蔵庫に保管している。

Tab. 5　平成８年度保存処理木器一覧

遺物No.	器　種	時　代	報告書挿図
四箇遺跡D地点（7411：市報172集）9点			
処10535～10538	不明柱材	弥生～古墳前期	未図化
処10539～10543	不明木製品	弥生～古墳前期	未図化
四箇遺跡B地点（7518：市報172集）1点			
処10544	矢板	弥生～古墳前期	未図化
四箇遺跡K-10a地点（7813：市報428集）56点			
処10566	柱材	弥生～古墳前期	P1.34
処10567～10597	不明杭材	弥生～古墳前期	未図化
処10676	不明木製品	弥生～古墳前期	未図化
5003	建築部材	弥生～古墳前期	Fig28-32
5004	柱材	弥生～古墳前期	Fig29-33
5007	柱材（両端加工）	弥生～古墳前期	Fig30-38
5008	柱材（両端加工）	弥生～古墳前期	Fig30-39
5009	割板材	弥生～古墳前期	Fig30-40
5010	割板材	弥生～古墳前期	Fig31-46
5011	矢板	弥生～古墳前期	Fig31-49
5012	柱材（両端加工）	弥生～古墳前期	Fig31-47
5013	柱材	弥生～古墳前期	Fig31-50
5014	建築材（二叉）	弥生～古墳前期	Fig31-51
5015	丸太材	弥生～古墳前期	Fig31-52
5016	杭材	弥生～古墳前期	P1.34
5017	柱材	弥生～古墳前期	未図化
5019	丸太材	弥生～古墳前期	Fig31-54
5020	矢板	弥生～古墳前期	Fig32-63
5020	杭材	弥生～古墳前期	Fig31-54
5021	矢板	弥生～古墳前期	P1.36
5022	柱材	弥生～古墳前期	Fig36-86
5023	杭材	弥生～古墳前期	Fig36-87
5024	杭材	弥生～古墳前期	Fig36-90
5025	柱材	弥生～古墳前期	Fig36-91
5026	杭材	弥生～古墳前期	Fig36-92
5028	柱材	弥生～古墳前期	Fig36-93
四箇遺跡K-11a地点（7815：市報482集）6点			
処10598	丸太材	弥生～古墳前期	未図化
処10599～10603	不明杭材	弥生～古墳前期	未図化
四箇遺跡K-11b地点（7816：市報482集）38点			
処10604～10609	不明杭材	弥生～古墳前期	未図化
処10610～10612	杭材？	弥生～古墳前期	未図化

遺物№	器　種	時　代	報告書挿図
9032	箸	中世	Fig131-2
9033	箸	中世	Fig131-3
9034	下駄	中世	Fig131-1
9036	下駄	中世	Fig176-107
9037	板（小口）	中世	Fig176-108
9038	円盤	中世	Fig176-112
9039	棒（すりこぎ？）	中世	Fig176-110
9040	木槌頭	中世	Fig176-109
9041	箸	中世	Fig176-111
9042	下駄	中世	Fig121-146
9043	下駄	中世	Fig121-K
9044	下駄	中世	Fig121-14
9056	曲物底板	中世	Fig125-163
9057	木樋底板	中世	Fig125-164
9058	糸巻？	中世	Fig125-166
9059	糸巻？	中世	Fig125-167
9060	錐柄	中世	Fig127-173
9061	棒	中世	Fig127-172
9062	角棒	中世	Fig125-165
9066	下駄	中世	Fig121-143
9067	折敷底板	中世	Fig166-224
9068	下駄	中世	Fig165-222
9069	下駄	中世	Fig165-223
9070～9124	下駄	中世	未図化
9125	草履中板	中世	未図化
9126～9134	下駄（歯）	中世	未図化
9135	板棒	中世	未図化
9136	板	中世	未図化
9137	丸棒	中世	未図化
9138	草履中板	中世	未図化
9139・9140	棒	中世	未図化
9141	箸	中世	未図化
9142	不明	中世	未図化
9143	下駄	中世	未図化
9144	板	中世	未図化
9145	曲物	中世	未図化
9148～9152	草履中板	中世	未図化
処10613～10619	不明杭材	弥生～古墳前期	未図化
処10620～10623	矢板	弥生～古墳前期	未図化
処10624～10626	不明杭材	弥生～古墳前期	未図化
処10627	矢板	弥生～古墳前期	未図化
処10628	矢板？	弥生～古墳前期	未図化
処10629～10637	不明柱材	弥生～古墳前期	未図化
処10638	杭材	弥生～古墳前期	未図化
処10639	不明木製品	弥生～古墳前期	未図化
処10640	二又柱材	弥生～古墳前期	Fig31-55
処10641	二又柱材	弥生～古墳前期	Fig29-35

板付遺跡E-5・6地点（7934：市報255集）１点

40019	不明製品		

拾六町ツイジ遺跡1次（8002：市報92集）１点

処10727	蔓編み物		未図化

四箇遺跡跡J-11e地点（8015：市報428集）19点

3001	鍬破片	弥生～古墳前期	Fig23-2
3002	三又鍬刃	弥生～古墳前期	Fig23-3
3005	柱材	弥生～古墳前期	Fig28-30
3006	割板材	弥生～古墳前期	Fig30-42
3007	樋状木製品	弥生～古墳前期	Fig30-43
3008	割板材	弥生～古墳前期	Fig31-44
3009	矢板	弥生～古墳前期	Fig31-45
3010	矢板	弥生～古墳前期	Fig32-62
3011	柱材	弥生～古墳前期	Fig32-59
3012	矢板	弥生～古墳前期	Fig32-60
3013	杭材	弥生～古墳前期	Fig32-64
3014	矢板	弥生～古墳前期	Fig35-78
3015	矢板	弥生～古墳前期	Fig35-80
3016	矢板	弥生～古墳前期	Fig35-81
3017	矢板	弥生～古墳前期	Fig35-83
3018	矢板	弥生～古墳前期	Fig35-84
3019	矢板	弥生～古墳前期	Fig35-85
3020	丸太材	弥生～古墳前期	Fig35-88
3021	丸太材	弥生～古墳前期	Fig36-89

博多遺跡築港線3次（8404：市報240集）265点

処10726	編物（土壁？）	中世	未図化
9003	下駄	中世	未図化
9005・9006	下駄	中世	未図化
9007	下駄	中世	Fig165-221
9022	曲物底板	中世	Fig223-15
9023	箸	中世	Fig223-19
9024	下駄（歯）	中世	Fig223-16
9025	折敷底板	中世	Fig123-159
9026	板草履	中世	Fig121-149
9027	棒（すりこぎ？）	中世	Fig127-171
9028	箸	中世	Fig127-179
9029	箸	中世	Fig127-177
9030	箸	中世	Fig127-176
9031	箸	中世	Fig127-178

遺物№	器　種	時　代	報告書挿図
9153～9190	箸	中世	未図化
9191	下駄	中世	Fig165-220
9192～9199	箸	中世	未図化
9200	半月状板	中世	Fig166-225
9201	半月状板	中世	未図化
9202	下駄	中世	未図化
9203	？	中世	未図化
9204・9205	棒	中世	未図化
9207	草履板	中世	未図化
9208～9215	下駄	中世	未図化
9216	半月状板	中世	未図化
9217	下駄（歯）？	中世	未図化
9218	板	中世	未図化
9219	板棒	中世	未図化
9220	木棒	中世	未図化
9221	小板	中世	未図化
9222	不明	中世	未図化
9224～9236	箸	中世	未図化
9237	草履板	中世	未図化
9238	数珠玉	中世	未図化
9310・9312	不明	中世	未図化
9313	箸	中世	未図化
9314	曲物他	中世	未図化
9315・9316	不明	中世	未図化
9317	箸	中世	未図化
9318～9288	不明	中世	未図化
9389	曲物底板	中世	未図化
9390	楔？	中世	未図化

井相田Ｃ遺跡2次（8625：市報179集）9点

639	井戸隅柱	中世	Fig19-E
640	井戸隅柱	中世	Fig19-S
641	井戸隅柱	中世	Fig19-N
642	井戸隅柱	中世	Fig19-W
698	井戸枠板	中世	未図化
758・759	不明木製品	中世	未図化
778・779	井戸枠板	中世	未図化

比恵遺跡25次（8924：市報255集）２点

19625	棍棒	弥生前期	P1.18-461
20019	刷毛目原体	弥生～古墳前期	Fig132-443

雀居遺跡5次（9317：市報407集）116点

30001	容器？	弥生時代前期	Fig49-18
30002	諸手鍬	弥生時代前期	Fig48-15
30003	建築材	弥生時代前期	Fig50-22
30004	建築材（懸架材）	弥生時代前期	Fig51-23
30005	諸手鍬（未製品）	弥生時代前期	Fig48-14
30006	杭？	弥生時代前期	Fig45-11
30007	石斧柄	弥生時代前期	Fig42-2
30008	石斧柄（未製品）	弥生時代前期	Fig42-1
30009	容器	弥生時代前期	Fig44-8
30012	柄	弥生時代後期	Fig68-11
30013	鉄斧柄	弥生時代後期	Fig68-10
30014	平鍬	弥生時代後期	Fig70-16
30015	編錘	弥生時代後期	Fig68-12
30016	棒状製品	弥生時代後期	Fig70-25
30017	棒状製品	弥生時代後期	Fig70-22
30018	棒状製品	弥生時代後期	Fig70-21
30019	棒状製品	弥生時代後期	Fig70-17
30020	棒状製品	弥生時代後期	Fig70-18
30021	棒状製品	弥生時代後期	Fig70-19
30022	棒状製品	弥生時代後期	Fig70-20
30023	建築材（柱材？）	弥生時代後期	Fig72-33
30025	机	弥生時代後期	Fig66-5
30026	机	弥生時代後期	Fig66-4
30027	鎌柄	弥生時代後期	Fig69-13
30028	机	弥生時代後期	Fig67-6
30029	高坏脚	弥生時代後期	Fig68-9
30030	鋤	弥生時代後期	Fig69-14
30033	建築材（垂木）	弥生時代後期	Fig72-34
30034	二又鍬	弥生時代後期	Fig92-17
30035	板材	弥生時代後期	Fig93-27
30036	組合材	弥生時代後期	Fig93-25
30037	把手付容器	弥生時代後期	Fig90-7
30038	案の天板？	弥生時代後期	Fig94-30
30039	盾？	弥生時代後期	Fig89-1
30048	編錘	弥生時代	Fig97-5
30049	編錘	弥生時代	Fig97-6
30050	編錘	弥生時代	Fig97-7
30052	建築材	弥生時代	Fig96-2
30053	組合材(有孔棒製品)	弥生時代	Fig96-1
30054	建築材	弥生時代	未図化
30055	建築材（垂木）	弥生時代	Fig97-4
30056	矢板	弥生時代	Fig99-2
30057	矢板	弥生時代	Fig99-1
30058	矢板	弥生時代	Fig99-3
30060	建築材	弥生時代前期	Fig50-19
30061	建築材	弥生時代前期	Fig50-20

遺物No.	器種	時代	報告書挿図
30062	棒材	弥生時代前期	Fig50-21
30063	容器	弥生時代前期	Fig45-10
30064	板材	弥生時代前期	Fig44-7
30065	鋤？	弥生時代前期	Fig43-5
30066	板材	弥生時代前期	Fig43-6
30067	諸手鍬	弥生時代前期	Fig49-17
30068	諸手鍬	弥生時代前期	Fig49-16
30069	不明柄	弥生時代前期	Fig44-9
30071	鍬（頭部破片）	弥生時代後期	Fig69-15
30072	農具	弥生時代後期	Fig70-24
30073	柄？	弥生時代後期	Fig70-26
30074	加工材	弥生時代後期	未図化
30075	棒状製品	弥生時代後期	Fig70-23
30076	建築材	弥生時代後期	Fig72-35
30077	机脚	弥生時代後期	Fig67-7
30078	机脚	弥生時代後期	Fig67-8
30079	建築材	弥生時代後期	Fig72-32
30080	平鍬	弥生時代後期	Fig91-11
30081	三又鍬歯	弥生時代後期	Fig92-22
30082	容器	弥生時代後期	Fig91-9
30083	平鍬	弥生時代後期	Fig91-12
30084	案の脚	弥生時代後期	Fig89-3
30085	案の脚	弥生時代後期	Fig89-2
30086	三又鍬	弥生時代後期	Fig92-20
30087	杵	弥生時代後期	Fig89-6
30088	刳り抜き板材	弥生時代後期	Fig89-4
30089	鍬	弥生時代後期	Fig91-3
30090	板材（案の部材）	弥生時代後期	Fig91-16
30091	有孔板材	弥生時代後期	Fig93-24
30092	鍬破片	弥生時代後期	Fig91-14
30093	杵	弥生時代後期	Fig89-5
30094	三又鍬歯	弥生時代後期	Fig92-19
30095	板材	弥生時代後期	Fig94-32
30096	楔	弥生時代後期	Fig93-28
30097	加工材	弥生時代後期	未図化
30098	加工材	弥生時代後期	未図化
30099	鍬破片	弥生時代後期	Fig91-15
30100	棒材	弥生時代後期	未図化

遺物No.	器種	時代	報告書挿図
30101	二又鍬	弥生時代後期	Fig91-18
30102	三又鍬	弥生時代後期	Fig92-21
30103	不明加工材	弥生時代後期	Fig93-26
30104	木鏃	弥生時代後期	Fig93-29
30105	三又鍬	弥生時代後期	Fig93-23
30106	三又鍬	弥生時代後期	Fig52-3
30107	諸手鍬	弥生時代後期	Fig24-19
30108	柱材	弥生時代後期	Fig60-29
30109	柄	弥生時代後期	未図化
30110	有孔板材	弥生時代後期	Fig96-3
30111	容器	弥生時代後期	Fig90-8
30112	板材	弥生時代後期	Fig94-31
30113	板材	弥生時代後期	Fig94-33
30115	平鍬	弥生時代後期	Fig91-10
30116	緯打具	弥生時代後期	Fig43-3
30117	緯打具	弥生時代後期	Fig43-4
30118	加工材	弥生時代	
30119	加工材	弥生時代	未図化
30120	沓	弥生時代	未図化
30121	板状製品	弥生時代	未図化
30122	有孔加工材	弥生時代	未図化
30123	棒状品	弥生時代	未図化
30125	板状製品	弥生時代	未図化
30126	不明材	弥生時代	未図化
30127	有孔板状製品	弥生時代	未図化
30128	建築材？	弥生時代	未図化
30129	建築材（壁材？）	弥生時代後期	Fig71-30
30130	建築材（壁材？）	弥生時代後期	Fig71-28
30131	建築材（壁材？）	弥生時代後期	Fig71-29
30132	建築材（壁材？）	弥生時代後期	Fig71-27
30133	建築材（壁材？）	弥生時代後期	Fig71-31
30238	箆状製品	弥生時代	未図化
博多遺跡97次（9603：未報告）2点			
処10722・10723	獣骨	中世	
多々良込田遺跡7次（9611：未報告）2点			
処10724	籠		
処10725	又鍬		

2）金属器

平成８年度に何らかの処理を行った金属器は18遺跡791点である。

処理は、最初に恒温乾燥機にて錆の一要因である水分除去を行い、処理前の確認作業（処理カードの作成、記録写真の撮影や資料の観察）を経て、刃物、回転研磨機、精密噴射加工機等を用いて物理的な錆、土を除去。更に強化と防錆の必要な資料は、鉄器はアクリル樹脂（パラロイドNAD-10）、青銅器にはアクリル樹脂（パラロイドＢ－72）と防錆剤（ベンゾトリアゾール）を含浸。また必要に応じて再溶解可能な材料にて接合、復元を行った。

事前調査は肉眼による目視と、実体顕微鏡による観察によって、錆の状況や表面付着物の確認を行っているが、内容的には不十分である点は否めない。また現在Ｘ線透過撮影装置を備えていないため、錆の除去は考古学的な知識と経験に頼らざるを得ない状況であり、微妙な部分は手を着けられない現状がある。各種事前調査機器類の早急な整備が望まれる。ただし、今年度は一部の資料について、福岡市博物館において透過Ｘ線による事前調査を行った。その結果鋤崎古墳群出土の鉄刀の鍔に、象眼が発見されるという成果があり、事前調査の重要性を再認識させられた。詳しくは発掘調査報告書を参照されたい。

この他に埋蔵文化財センターに収蔵される金属器は、受け入れ時に恒温乾燥機による乾燥を実施し、その後に乾燥剤を入れて密封保管する作業を行っている。また遺存状況が良好で、今後急激な劣化が予測されるにもかかわらず、時間的な制約で処理が行えないものについては、脱酸素剤とシリカゲルの機能を併せ持った薬剤を特殊な透明シートでパックする収納システム（三菱ガス化学・ＲＰシステム）による収納作業を進めている。これにより、とりあえず一時的に錆の進行を抑制した状態で保管することができる。

今年度も処理にあたっては埋蔵文化財課の各担当者に様々な部分で、支援、協力いただいた。記して感謝の意を表します。

Tab. 6　平成８年度保存処理金属器一覧

番　号	仮番号	器　種	時　　代	報告書挿図	材　質	作　業　内　容
海の中道遺跡1次（7940：市報87集）						
20670～20793		鉄器	古代	未図化	鉄	乾燥・クリーニング
比恵遺跡20次（8859：市報227集）1点						
20001		鉄鏃	弥生中期	Fig111-121	鉄	乾燥・クリーニング
那珂遺跡20次（8906：市報324集）						
20001		青銅鋤先	弥生後期	Fig61-171	銅	防錆、アクリル樹脂含浸
東入部遺跡5次（9226：市報382集）8点						
20001		鑿	弥生中期末～後期初頭	Fig12-23	鉄	クリーニング、防錆
20002		ヤリガンナ	弥生中期末～後期初頭	Fig12-19	鉄	クリーニング、防錆
20003		刀子	弥生中期末～後期初頭	Fig12-22	鉄	クリーニング、防錆
20004		刀子	弥生中期末～後期初頭	Fig12-21	鉄	クリーニング、防錆
20005		刀子	弥生中期末～後期初頭	Fig12-20	鉄	クリーニング、防錆
20006		鏃	弥生中期末～後期初頭	Fig12-26	鉄	クリーニング、防錆
20007		鏃	弥生中期末～後期初頭	Fig12-25	鉄	クリーニング、防錆
20008		鏃	弥生中期末～後期初頭	Fig12-24	鉄	クリーニング、防錆
持田ヶ浦古墳群（9310：市報445集）5点						
30001		耳環	古墳後期	Fig22-6	銅・金	乾燥、クリーニング、防錆、アクリル樹脂含浸
30002		耳環	古墳後期	Fig22-4	銅・金	乾燥、クリーニング、防錆、アクリル樹脂含浸
30003		耳環	古墳後期	Fig22-5	銅・金	乾燥、クリーニング、防錆、アクリル樹脂含浸
30004		耳環	古墳後期	Fig22-8	銅	乾燥、クリーニング、防錆、アクリル樹脂含浸
30005		耳環	古墳後期	Fig22-7	銅	乾燥、クリーニング、防錆、アクリル樹脂含浸
東那珂遺跡1次（9343：市報400集）1点						
46		夔鳳鏡	古墳時代前期		銅	防錆、アクリル樹脂含浸
大谷遺跡５次（席田大谷２号墳）（9421：市報537集）45点						
処10756		耳環	古墳後期	8-1	銅・金	クリーニング、アクリル樹脂含浸
処10757		耳環	古墳後期	8-2	銅・金	クリーニング、アクリル樹脂含浸
処10758		耳環	古墳後期	8-3	銅・金	クリーニング、アクリル樹脂含浸
処10759		耳環	古墳後期	8-4	銅・金	クリーニング、アクリル樹脂含浸
処10760		耳環	古墳後期	8-5	銅・金	クリーニング、アクリル樹脂含浸
処10761		耳環	古墳後期	8-6	銅・銀	クリーニング、アクリル樹脂含浸
処10762		耳環	古墳後期	8-7	銅・銀	クリーニング、アクリル樹脂含浸
処10763		耳環	古墳後期	8-8	銅・銀	クリーニング、アクリル樹脂含浸
処10764		耳環	古墳後期	8-9	銅・銀	クリーニング、アクリル樹脂含浸
処10765		耳環	古墳後期	8-10	銅	クリーニング、アクリル樹脂含浸
処10766		耳環	古墳後期	8-11	銅	クリーニング、アクリル樹脂含浸
処10767		耳環	古墳後期	8-12	銅	クリーニング、アクリル樹脂含浸
処10768		耳環	古墳後期	8-13	銅	クリーニング、アクリル樹脂含浸
処10769		鎌	古墳後期	10-1	鉄	クリーニング、アクリル樹脂含浸
処10770		鋸	古墳後期	10-2	鉄	クリーニング、アクリル樹脂含浸
処10771		刀子	古墳後期	10-3	鉄	クリーニング、アクリル樹脂含浸
処11687		刀子	古墳後期	10-4	鉄	クリーニング、アクリル樹脂含浸
処11688		刀子	古墳後期	10-5	鉄	クリーニング、アクリル樹脂含浸
処11689		刀子	古墳後期	10-6	鉄	クリーニング、アクリル樹脂含浸
処11690		刀子	古墳後期	10-7	鉄	クリーニング、アクリル樹脂含浸
処11691		刀子	古墳後期	10-10	鉄	クリーニング、アクリル樹脂含浸
処11692		刀子	古墳後期	10-11	鉄	クリーニング、アクリル樹脂含浸
処11693		刀子	古墳後期	10-8.9	鉄	クリーニング、アクリル樹脂含浸
処11694		刀	古墳後期	10-13	鉄	クリーニング、アクリル樹脂含浸
処11695		鏃（長頚）	古墳後期	11-14	鉄	クリーニング、アクリル樹脂含浸
処11696		鏃（長頚）	古墳後期	11-15	鉄	クリーニング、アクリル樹脂含浸
処11697		鏃（長頚）	古墳後期	11-16	鉄	クリーニング、アクリル樹脂含浸
処11698		鏃（長頚）	古墳後期	11-17	鉄	クリーニング、アクリル樹脂含浸
処11699		鏃（長頚）	古墳後期	11-22	鉄	クリーニング、アクリル樹脂含浸
処11700		鏃（長頚）	古墳後期	11-18	鉄	クリーニング、アクリル樹脂含浸
処11701		鏃（長頚）	古墳後期	11-23	鉄	クリーニング、アクリル樹脂含浸
処11702		鏃（長頚）	古墳後期	11-25	鉄	クリーニング、アクリル樹脂含浸
処11703		鏃（長頚）	古墳後期	11-24	鉄	クリーニング、アクリル樹脂含浸
処11704		鏃（広根三角）	古墳後期	11-28	鉄	クリーニング、アクリル樹脂含浸
処11705		鏃（広根三角）	古墳後期	11-31	鉄	クリーニング、アクリル樹脂含浸
処11706		鏃（方頭斧箭）	古墳後期	11-29	鉄	クリーニング、アクリル樹脂含浸
処11707		鏃（圭頭斧箭）	古墳後期	11-30	鉄	クリーニング、アクリル樹脂含浸
処11708		鏃（茎部分）	古墳後期	11-35.38	鉄	クリーニング、アクリル樹脂含浸
処11709		鏃（茎部分）	古墳後期	11-26	鉄	クリーニング、アクリル樹脂含浸
処11710		鏃（茎部分）	古墳後期	11-33.34	鉄	クリーニング、アクリル樹脂含浸
処11711		鏃破片	古墳後期	11-19.21	鉄	クリーニング、アクリル樹脂含浸
処11712		鏃破片	古墳後期	未図化	鉄	クリーニング、アクリル樹脂含浸
処11713		鏃破片	古墳後期	11-20.27.3	鉄	クリーニング、アクリル樹脂含浸
処11714		刀子？	古墳後期	10-12	鉄	クリーニング、アクリル樹脂含浸
処11715		不明（鎖状）	古墳後期	11-38	鉄	クリーニング、アクリル樹脂含浸
鋤崎古墳群３次（9425：市報506集）1点						
処10677		鉄刀	古墳後期		鉄	クリーニング
比恵遺跡54次（9443：市報520集）1点						
処11516					顔料？	乾燥、クリーニング
西新町遺跡9次（9458：市報505集）1点						
処10721		板状鉄斧	弥生後期	Fig19-43	鉄	乾燥、RPパック
博多遺跡89次（9505：未報告）427点						
処11716～11718		キセル	近世		銅	クリーニング、防錆処理、アクリル樹脂含浸
処11719～11721		不明銅製品	近世		銅	クリーニング、防錆処理、アクリル樹脂含浸
処11722・11723		キセル	近世		銅	クリーニング、防錆処理、アクリル樹脂含浸
処11724～11730		不明銅製品	近世		銅	クリーニング、防錆処理、アクリル樹脂含浸

番　号	仮番号	器　種	時　代	報告書挿図	材　質	作　業　内　容
処11731		キセル	近世		銅	クリーニング、防錆処理、アクリル樹脂含浸
処11732・11733		不明銅製品	近世		銅	クリーニング、防錆処理、アクリル樹脂含浸
処11734		鋲	近世		銅	クリーニング、防錆処理、アクリル樹脂含浸
処11735～11739		不明銅製品	近世		銅	クリーニング、防錆処理、アクリル樹脂含浸
処11740		キセル	近世		銅	クリーニング、防錆処理、アクリル樹脂含浸
処11741～11743		管	近世		銅	クリーニング、防錆処理、アクリル樹脂含浸
処11744		不明銅製品	近世		銅	クリーニング、防錆処理、アクリル樹脂含浸
処11745		針金	近世		銅	クリーニング、防錆処理、アクリル樹脂含浸
処11746～11748		不明銅製品	近世		銅	クリーニング、防錆処理、アクリル樹脂含浸
処11749～11751		キセル	近世		銅	クリーニング、防錆処理、アクリル樹脂含浸
処11752・11753		不明銅製品	近世		銅	クリーニング、防錆処理、アクリル樹脂含浸
処11754		小刀	近世		銅	クリーニング、防錆処理、アクリル樹脂含浸
処11755～11757		キセル	近世		銅	クリーニング、防錆処理、アクリル樹脂含浸
処11758～11765		不明銅製品	近世		銅	クリーニング、防錆処理、アクリル樹脂含浸
処11766～11767		キセル	近世		銅	クリーニング、防錆処理、アクリル樹脂含浸
処11768～11769		不明銅製品	近世		銅	クリーニング、防錆処理、アクリル樹脂含浸
処11770		キセル	近世		銅	クリーニング、防錆処理、アクリル樹脂含浸
処11771		不明銅製品	近世		銅	クリーニング、防錆処理、アクリル樹脂含浸
処11772		飾金具	近世		銅	クリーニング、防錆処理、アクリル樹脂含浸
処11773・11774		不明銅製品	近世		銅	クリーニング、防錆処理、アクリル樹脂含浸
処11775・11776		キセル	近世		銅	クリーニング、防錆処理、アクリル樹脂含浸
処11777・11778		不明銅製品	近世		銅	クリーニング、防錆処理、アクリル樹脂含浸
処11779		キセル	近世		銅	クリーニング、防錆処理、アクリル樹脂含浸
処11780		不明銅製品	近世		銅	クリーニング、防錆処理、アクリル樹脂含浸
処11781		飾金具	近世		銅	クリーニング、防錆処理、アクリル樹脂含浸
処11782～11785		キセル	近世		銅	クリーニング、防錆処理、アクリル樹脂含浸
処11786・11787		不明銅製品	近世		銅	クリーニング、防錆処理、アクリル樹脂含浸
処11788		キセル	近世		銅	クリーニング、防錆処理、アクリル樹脂含浸
処11789		匙	近世		銅	クリーニング、防錆処理、アクリル樹脂含浸
処11790～11794		不明銅製品	近世		銅	クリーニング、防錆処理、アクリル樹脂含浸
処11795		匙？	近世		銅	クリーニング、防錆処理、アクリル樹脂含浸
処11796		キセル	近世		銅	クリーニング、防錆処理、アクリル樹脂含浸
処11797・11798		不明銅製品	近世		銅	クリーニング、防錆処理、アクリル樹脂含浸
処11799～11803		キセル	近世		銅	クリーニング、防錆処理、アクリル樹脂含浸
処11804		匙？	近世		銅	クリーニング、防錆処理、アクリル樹脂含浸
処11805		キセル	近世		銅	クリーニング、防錆処理、アクリル樹脂含浸
処11806		不明銅製品	近世		銅	クリーニング、防錆処理、アクリル樹脂含浸
処11807・11808		キセル	近世		銅	クリーニング、防錆処理、アクリル樹脂含浸
処11809・11810		不明銅製品	近世		銅	クリーニング、防錆処理、アクリル樹脂含浸
処11811		キセル	近世		銅	クリーニング、防錆処理、アクリル樹脂含浸
処11812・11813		不明銅製品	近世		銅	クリーニング、防錆処理、アクリル樹脂含浸
処11814・11815		小刀	近世		銅	クリーニング、防錆処理、アクリル樹脂含浸
処11816～11821		不明銅製品	近世		銅	クリーニング、防錆処理、アクリル樹脂含浸
処11822		把手？	近世		銅	クリーニング、防錆処理、アクリル樹脂含浸
処11823・11824		不明銅製品	近世		銅	クリーニング、防錆処理、アクリル樹脂含浸
処11825・11826		小刀	近世		銅	クリーニング、防錆処理、アクリル樹脂含浸
処11827・11829		キセル	近世		銅	クリーニング、防錆処理、アクリル樹脂含浸
処11830		不明銅製品	近世		銅	クリーニング、防錆処理、アクリル樹脂含浸
処11831～11834		キセル	近世		銅	クリーニング、防錆処理、アクリル樹脂含浸
処11835・11836		針金	近世		銅	クリーニング、防錆処理、アクリル樹脂含浸
処11837～11843		不明銅製品	近世		銅	クリーニング、防錆処理、アクリル樹脂含浸
処11844		キセル	近世		銅	クリーニング、防錆処理、アクリル樹脂含浸
処11845～11847		不明銅製品	近世		銅	クリーニング、防錆処理、アクリル樹脂含浸
処11848		キセル	近世		銅	クリーニング、防錆処理、アクリル樹脂含浸
処11849		鋲	近世		銅	クリーニング、防錆処理、アクリル樹脂含浸
処11850～11856		不明銅製品	近世		銅	クリーニング、防錆処理、アクリル樹脂含浸
処11857		キセル	近世		銅	クリーニング、防錆処理、アクリル樹脂含浸
処11858～11863		不明銅製品	近世		銅	クリーニング、防錆処理、アクリル樹脂含浸
処11864・11865		キセル	近世		銅	クリーニング、防錆処理、アクリル樹脂含浸
処11866		不明銅製品	近世		銅	クリーニング、防錆処理、アクリル樹脂含浸
処11867・11868		針金	近世		銅	クリーニング、防錆処理、アクリル樹脂含浸
処11869		不明銅製品	近世		銅	クリーニング、防錆処理、アクリル樹脂含浸
処11870		キセル	近世		銅	クリーニング、防錆処理、アクリル樹脂含浸
処11871		鎖	近世		銅	クリーニング、防錆処理、アクリル樹脂含浸
処11872～11876		不明銅製品	近世		銅	クリーニング、防錆処理、アクリル樹脂含浸
処11877		キセル	近世		銅	クリーニング、防錆処理、アクリル樹脂含浸
処11878・11879		仏具（高坏）	近世		銅	クリーニング、防錆処理、アクリル樹脂含浸
処11880～11883		不明銅製品	近世		銅	クリーニング、防錆処理、アクリル樹脂含浸
処11884・11885		キセル	近世		銅	クリーニング、防錆処理、アクリル樹脂含浸
処11886～11888		不明銅製品	近世		銅	クリーニング、防錆処理、アクリル樹脂含浸
処11889		鍵	近世		銅	クリーニング、防錆処理、アクリル樹脂含浸
処11890		不明銅製品	近世		銅	クリーニング、防錆処理、アクリル樹脂含浸
処11891		飾金具	近世		銅	クリーニング、防錆処理、アクリル樹脂含浸
処11892～11896		不明銅製品	近世		銅	クリーニング、防錆処理、アクリル樹脂含浸
処11897		匙	近世		銅	クリーニング、防錆処理、アクリル樹脂含浸
処11898～11901		不明銅製品	近世		銅	クリーニング、防錆処理、アクリル樹脂含浸
処11902		小刀	近世		銅	クリーニング、防錆処理、アクリル樹脂含浸
処11903～11907		不明銅製品	近世		銅	クリーニング、防錆処理、アクリル樹脂含浸
処11908		キセル	近世		銅	クリーニング、防錆処理、アクリル樹脂含浸
処11909		鏡	近世		銅	クリーニング、防錆処理、アクリル樹脂含浸
処11910		キセル	近世		銅	クリーニング、防錆処理、アクリル樹脂含浸
処1191		不明銅製品	近世		銅	クリーニング、防錆処理、アクリル樹脂含浸
処11912～11914		キセル	近世		銅	クリーニング、防錆処理、アクリル樹脂含浸
処11915		皿	近世		銅	クリーニング、防錆処理、アクリル樹脂含浸

番　号	仮番号	器　種	時　代	報告書挿図	材　質	作　業　内　容
処11916		キセル	近世		銅	クリーニング、防錆処理、アクリル樹脂含浸
処11917		不明塊	近世		銅	クリーニング、防錆処理、アクリル樹脂含浸
処11918		キセル	近世		銅	クリーニング、防錆処理、アクリル樹脂含浸
処11919		不明銅製品	近世		銅	クリーニング、防錆処理、アクリル樹脂含浸
処11920		針金	近世		銅	クリーニング、防錆処理、アクリル樹脂含浸
処11921		環	近世		銅	クリーニング、防錆処理、アクリル樹脂含浸
処11922～11924		キセル	近世		銅	クリーニング、防錆処理、アクリル樹脂含浸
処11925～11930		不明銅製品	近世		銅	クリーニング、防錆処理、アクリル樹脂含浸
処11931		分銅銭	近世		銅	クリーニング、防錆処理、アクリル樹脂含浸
処11932		不明銅製品	近世		銅	クリーニング、防錆処理、アクリル樹脂含浸
処11933		指輪	近世		銅	クリーニング、防錆処理、アクリル樹脂含浸
処11934・11935		不明銅製品	近世		銅	クリーニング、防錆処理、アクリル樹脂含浸
処11653	仮1～11	銭	近世		銅	クリーニング、防錆処理、アクリル樹脂含浸
処11654	仮12～22	銭	近世		銅	クリーニング、防錆処理、アクリル樹脂含浸
処11655	仮23～31	銭	近世		銅	クリーニング、防錆処理、アクリル樹脂含浸
処11656	仮32～40	銭	近世		銅	クリーニング、防錆処理、アクリル樹脂含浸
処11657	仮41～52	銭	近世		銅	クリーニング、防錆処理、アクリル樹脂含浸
処11658	仮53～57	銭	近世		銅	クリーニング、防錆処理、アクリル樹脂含浸
処11659	仮58～64	銭	近世		銅	クリーニング、防錆処理、アクリル樹脂含浸
処11660	仮65～69	銭	近世		銅	クリーニング、防錆処理、アクリル樹脂含浸
処11661	仮70～75	銭	近世		銅	クリーニング、防錆処理、アクリル樹脂含浸
処11662	仮76～86	銭	近世		銅	クリーニング、防錆処理、アクリル樹脂含浸
処11663	仮87～90	銭	近世		銅	クリーニング、防錆処理、アクリル樹脂含浸
処11664	仮91・92	銭（寛永通宝）	近世		銅	クリーニング、防錆処理、アクリル樹脂含浸
処11665	仮93～98	銭	近世		銅	クリーニング、防錆処理、アクリル樹脂含浸
処11666	仮99～107	銭	近世		銅	クリーニング、防錆処理、アクリル樹脂含浸
処11667	仮108～112	銭	近世		銅	クリーニング、防錆処理、アクリル樹脂含浸
処11668	仮113～122	銭	近世		銅	クリーニング、防錆処理、アクリル樹脂含浸
処11669	仮123～128	銭(寛永通宝他)	近世		銅	クリーニング、防錆処理、アクリル樹脂含浸
処11670	仮129～136	銭	近世		銅	クリーニング、防錆処理、アクリル樹脂含浸
処11671	仮137～144	銭	近世		銅	クリーニング、防錆処理、アクリル樹脂含浸
処11672	仮145～149	銭(皇宗通宝他)	近世		銅	クリーニング、防錆処理、アクリル樹脂含浸
処11673	仮150～160	銭(寛永通宝他)	近世		銅	クリーニング、防錆処理、アクリル樹脂含浸
処11674	仮161～166	銭	近世		銅	クリーニング、防錆処理、アクリル樹脂含浸
処11675	仮167～169	銭(寛永通宝他)	近世		銅	クリーニング、防錆処理、アクリル樹脂含浸
処11676	仮170～176	銭	近世		銅	クリーニング、防錆処理、アクリル樹脂含浸
処11677	仮177～181	銭	近世		銅	クリーニング、防錆処理、アクリル樹脂含浸
処11678	仮182～187	銭(寛永通宝他)	近世		銅	クリーニング、防錆処理、アクリル樹脂含浸
処11679	仮188～190	銭(寛永通宝他)	近世		銅	クリーニング、防錆処理、アクリル樹脂含浸
処11680	仮191～201	銭(寛永通宝他)	近世		銅	クリーニング、防錆処理、アクリル樹脂含浸
処11681	仮202～207	銭(寛永通宝他)	近世		銅	クリーニング、防錆処理、アクリル樹脂含浸
有田遺跡178次（9516：市報512集）1点						
処10678		鏡	古墳前期	17	銅	クリーニング、樹脂補強、接合、復元
舞松原古墳（9531：市報533集）1点						
処10712		八稜鏡	中世	20	銅	乾燥、クリーニング
広石南古墳群A群1次（9555：未報告）61点						
処10679		鉄槌	古墳後期		鉄	乾燥、クリーニング
処10680		鮫具	古墳後期		鉄	乾燥、クリーニング
処10681		斧	古墳後期		鉄	乾燥、クリーニング
処10682		鍔？	古墳後期		鉄	乾燥、クリーニング
処10683		刀	古墳後期		鉄	乾燥、クリーニング
処10684		鏃	古墳後期		鉄	乾燥、クリーニング
処10685		鮫具	古墳後期		鉄	乾燥、クリーニング
処10686		刀子	古墳後期		鉄	乾燥、クリーニング
処10687		鏃	古墳後期		鉄	乾燥、クリーニング
処10688		刀？	古墳後期		鉄	乾燥、クリーニング
処10689		鏃・刀子	古墳後期		鉄	乾燥、クリーニング
処10690		刀装具	古墳後期		鉄	乾燥、クリーニング
処10691		刀子	古墳後期		鉄	乾燥、クリーニング
処10692		刀子	古墳後期		鉄	乾燥、クリーニング
処10693		刀子？	古墳後期		鉄	乾燥、クリーニング
処10694		鮫具	古墳後期		鉄	乾燥、クリーニング
処10695		鏃	古墳後期		鉄	乾燥、クリーニング
処10696		不明破片	古墳後期		鉄	乾燥、クリーニング
処10697		鏃	古墳後期		鉄	乾燥、クリーニング
処10698			古墳後期		鉄	乾燥、クリーニング
処10699		不明鉄塊	古墳後期		鉄	乾燥、クリーニング
処10700		鏃	古墳後期		鉄	乾燥、クリーニング
処10701		刀子？	古墳後期		鉄	乾燥、クリーニング
処10702		飾金具	古墳後期		鉄地金銅張	乾燥、クリーニング
処10703		飾金具	古墳後期		鉄地金銅張	乾燥、クリーニング
処10704		飾金具	古墳後期		鉄地金銅張	乾燥、クリーニング
処10705		飾金具	古墳後期		鉄地金銅張	乾燥、クリーニング
処10706		帯先金具	古墳後期		鉄地金銅張	乾燥、クリーニング
処10707		帯先金具	古墳後期		鉄地金銅張	乾燥、クリーニング
処10708		飾金具	古墳後期		鉄地金銅張	乾燥、クリーニング
処10709		篦状鉄製品	古墳後期		鉄	乾燥、クリーニング
処10710		鉗	古墳後期		鉄	乾燥、クリーニング
処10711		鮫具	古墳後期		鉄	乾燥、クリーニング
処10713		帯先金具	古墳後期		鉄	乾燥、クリーニング
処10729・10730		不明鉄器	古墳後期		鉄	乾燥、クリーニング
処10731		釘	古墳後期		鉄	乾燥、クリーニング
処10732～10739		不明鉄器	古墳後期		鉄	乾燥、クリーニング

番　号	仮番号	器　種	時　代	報告書挿図	材　質	作　業　内　容
処10740		刀装具(鵐目金具)	古墳後期		銅	乾燥、クリーニング
処10741		飾金具	古墳後期		銀	乾燥、クリーニング
処10742～10744		馬具(辻金具)3点	古墳後期		鉄地金銅張	乾燥、クリーニング
処10745～10750		耳環6点	古墳後期		銅・金？	乾燥、クリーニング
処10751		不明鉄	古墳後期		鉄	乾燥、クリーニング
処10752		刀子	古墳後期		鉄	乾燥、クリーニング
処10753		釘	古墳後期		鉄	乾燥、クリーニング
処10754		刀子	古墳後期		鉄	乾燥、クリーニング
処10755		銭（寛永通宝）	近世		銅	乾燥、クリーニング
博多遺跡96次（9559：未報告）111点						
処11936～11942		不明銅製品	近世		銅	クリーニング、防錆処理、アクリル樹脂含浸
処11943・11944		キセル	近世		銅	クリーニング、防錆処理、アクリル樹脂含浸
処11945		不明銅製品	近世		銅	クリーニング、防錆処理、アクリル樹脂含浸
処11946		環	近世		銅	クリーニング、防錆処理、アクリル樹脂含浸
処11947～11949		不明銅製品	近世		銅	クリーニング、防錆処理、アクリル樹脂含浸
処11950		キセル？	近世		銅	クリーニング、防錆処理、アクリル樹脂含浸
処11951		不明銅製品	近世		銅	クリーニング、防錆処理、アクリル樹脂含浸
処11952		キセル	近世		銅	クリーニング、防錆処理、アクリル樹脂含浸
処11953・11954		不明銅製品	近世		銅	クリーニング、防錆処理、アクリル樹脂含浸
処11955		キセル	近世		銅	クリーニング、防錆処理、アクリル樹脂含浸
処11956		不明板	近世		銅	クリーニング、防錆処理、アクリル樹脂含浸
処11957～11959		不明銅製品	近世		銅	クリーニング、防錆処理、アクリル樹脂含浸
処11960		鋲	近世		銅	クリーニング、防錆処理、アクリル樹脂含浸
処11961・11962		不明銅製品	近世		銅	クリーニング、防錆処理、アクリル樹脂含浸
処11963		釘金	近世		銅	クリーニング、防錆処理、アクリル樹脂含浸
処11964・11965		キセル	近世		銅	クリーニング、防錆処理、アクリル樹脂含浸
処11966		飾り金具	近世		銅	クリーニング、防錆処理、アクリル樹脂含浸
処11967		不明銅製品	近世		銅	クリーニング、防錆処理、アクリル樹脂含浸
処11968・11969		キセル	近世		銅	クリーニング、防錆処理、アクリル樹脂含浸
処11970		不明塊	近世		銅	クリーニング、防錆処理、アクリル樹脂含浸
処11971・11972		キセル	近世		銅	クリーニング、防錆処理、アクリル樹脂含浸
処11973～11995		針金	近世		銅	クリーニング、防錆処理、アクリル樹脂含浸
処11996		不明銅製品	近世		銅	クリーニング、防錆処理、アクリル樹脂含浸
処11997		刀装具（切羽）	近世		銅	クリーニング、防錆処理、アクリル樹脂含浸
処11998		キセル	近世		銅	クリーニング、防錆処理、アクリル樹脂含浸
処11999		飾金具	近世		銅	クリーニング、防錆処理、アクリル樹脂含浸
処12000・12001		不明銅製品	近世		銅	クリーニング、防錆処理、アクリル樹脂含浸
処12002・12003		キセル	近世		銅	クリーニング、防錆処理、アクリル樹脂含浸
処12004～12008		不明銅製品	近世		銅	クリーニング、防錆処理、アクリル樹脂含浸
処12009・12010		キセル	近世		銅	クリーニング、防錆処理、アクリル樹脂含浸
処12011・12012		不明銅製品	近世		銅	クリーニング、防錆処理、アクリル樹脂含浸
処12013		キセル	近世		銅	クリーニング、防錆処理、アクリル樹脂含浸
処12014～12016		不明銅製品	近世		銅	クリーニング、防錆処理、アクリル樹脂含浸
処11682	仮1～8	銭	近世		銅	クリーニング、防錆処理、アクリル樹脂含浸
処11683	仮9～16	銭(寛永通宝・一銭)	近世・近代		銅	クリーニング、防錆処理、アクリル樹脂含浸
処11684	仮17～26	銭(寛永通宝)	近世		銅	クリーニング、防錆処理、アクリル樹脂含浸
処11685	仮27～30	銭(一銭・五十銭)	近代		銅	クリーニング、防錆処理、アクリル樹脂含浸
雀居遺跡10次（9609：未報告）						
処10728		銭（貨泉）	弥生中期		銅	乾燥、クリーニング
箱崎遺跡10次（9646：未報告）1点						
処11686		刀	中世？		鉄	乾燥、クリーニング
石ケ元古墳群（9656：未報告）1点						
処11652		袋状斧	古墳？		鉄	乾燥、クリーニング

（2）付論：雀居遺跡５次調査出土の木製品について

（1）はじめに

今年度保存処理を行った木製品のうち、雀居遺跡5次調査出土資料116点には、縄文時代晩期の農具や緯打具、容器、弥生時代後期の農具、机の部材等、類例の少ない貴重な資料を数多く含んでおり、保存処理の完了によって今後より多くの活用が期待されるものである。これら木製品の殆どは既に報告書の刊行によってその詳細が明らかにされているが[(1)]、今回この場を借りて主要な資料について今一度写真の掲載を行い、利用の手引きとするとともに、未報告資料の紹介と報告後新たに得られた知見について記すこととする。

（2）遺跡と調査の概要

雀居遺跡は福岡市博多区大字雀居に所在する。当地は福岡空港の敷地内、滑走路の西側にあたり、空港施設整備等に伴って平成3年からこれまでに10数次に亘る調査が行われ、数多くの貴重な遺構・遺物が発見されている。特に平成４・５年度の第４・５次調査では縄文時代晩期の溝や貯蔵穴、弥生時代後期の大型掘立柱建物や、溝といった遺構と共に多量の木製品が出土した。今年度処理を行ったのはその一部である。

周辺の弥生時代の主要な遺跡としては、奴国の中心地と目される比恵・那珂遺跡、学史に名高い板付遺跡が雀居遺跡から半径１．５ｋｍ圏内である。また滑走路を挟んで東側の丘陵上には、席田青木遺跡、宝満尾遺跡、金隈遺跡といった墓地群や、銅鐸の鋳型が出土した赤穂ノ浦遺跡が知られている。

（３）木製品の概要

処理を行った木製品の内容は一覧表の通りである。一点ごとの解説は既に報告書に詳しく述べられていることから、重複を避け処理後写真の掲載に止める。また写真も紙幅の関係上全てを載せるのは不可能なため、一部の資料のみに限らせていただく。ただ、数点の未報告資料と報告書の時点で明らかになっていなかった点があることから、これらについて実測図を載せると共に、多少の解説を行いたい。

履物（931730120：資料名の後の数字は遺物の登録番号を表す。以下同じ。）

当初は容器の破片とされ、バラバラに割れていたため実測図も掲載されていなかったが、処理後の接合の結果「履物」であることが判明した。広葉樹の一木作りで、足の形をトレースした様な平面形を呈し、周囲に高さ３ｃｍ程の立ち上がりを有する。側面の中央付近には左右１箇所ずつ孔があり、ここに紐を通して足に固定したものと考えられる。裏側には洗濯板のような「隆起帯」が削り出されていて、滑り止めか、湿地での土離れを良くする効果をねらったものと思われる。踵側が若干破損しているものの、左足用で大きさは内法長２６ｃｍあり、現代人の男性でも十分履ける大きさである。この種の履物は北部九州を中心に12遺跡で15例の類例があるが、北部九州以外は今のところ長野県と関東地方の２県に限られ、時代も弥生から古墳の後期までに限られる珍しい遺物である。福岡市内及びその周辺では、博多区の那珂久平・君休遺跡でほぼ同時期の資料が各１例ずつ見つかっている他、南に５ｋｍ程下がった春日市の辻田遺跡でも裏にスパイク状の突起を持つ資料が出土している。用途は、数が少ないことから祭祀用とする見方もあるが、田下駄や現代に残る民具の検討から、湿地での作業用で湿地に生える葦などの植物の切り株から足を保護するためのものと考えるのが妥当のようである[(2)]。

鳥形木製品（931730121）

ＳＤ－００２からの出土で、木目の詰まった針葉樹（杉材？）の一枚板で作られている。大きさは現存長２１ｃｍを計る。胴部のほぼ中央に１箇所径５ｍｍの穿孔が見られる。弥生時代後期の所産と考えられる。

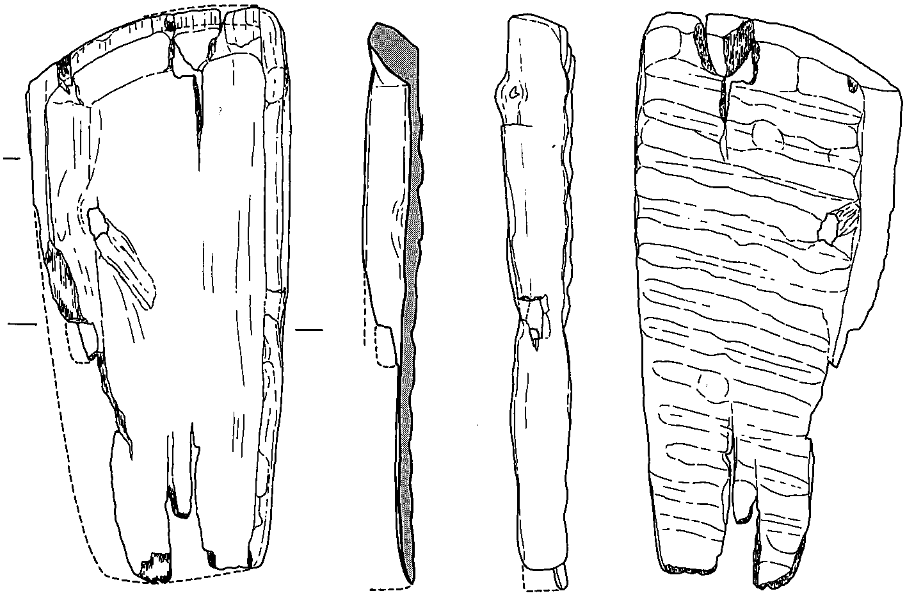
鳥形木製品については、最近山田康弘氏の論文に詳しく書かれており[(3)]、それによれば当該資料は２Ｂｂ式に分類され、静岡県の弥生後期（Ｖ期）に類例が見られる。これらはいずれもスギなどの針葉樹が用いられており、この点でも共通していることから、同一の範疇に含まれるものと見て間違いないであろう。しかし、山田氏によれば鳥形木製品は九州には見られないとされており、九州における初見資料ということになる。

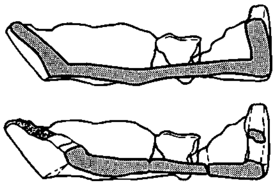
有孔加工材（931730122）

曲面と段加工を持つ幅５ｃｍ程の材に、規則的に孔が穿たれている。あまりに小片のため全容を掴むすべが無いが、非常に精緻な加工品である。ＳＤ－００２出土。

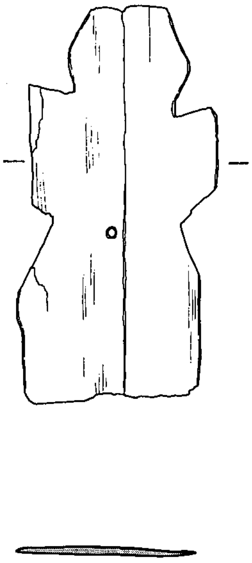
有孔板材（931730127）

ＳＤ－２２１からの出土で、厚さ２ｃｍ程度の比較的厚い板に、不規則な穿孔と、長側面の片側には抉りが一箇所見られる。平面形の三辺は直角に切り落とされているが、残る一辺は斜めにカットされ、何かで激しく擦った様な摩耗が見られる。用途は全くもって不明である。

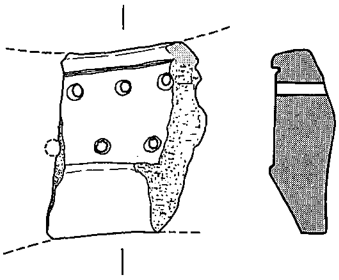




931730120

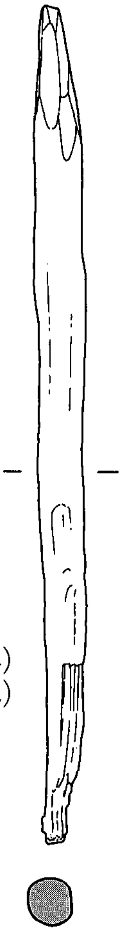


931730121

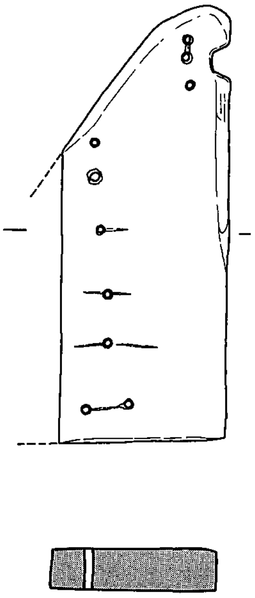


931730122

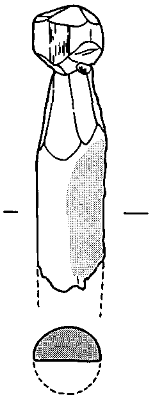
20（1/4）
0　　　　10（1/2）



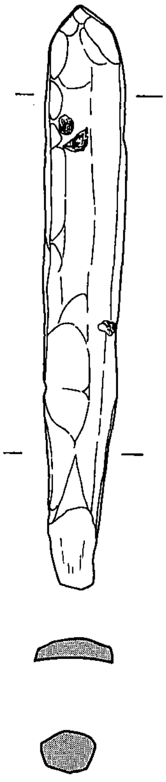
931730123



931730127



931730128



931730238

Fig. 1　雀遺跡第5次調査出土器実測図
（縮尺は931730122のみ1/2、他は1/4）

▒ は炭化部分を表す

篦状製品（931730238）

長さ３０．７ｃｍ、最大幅４．３ｃｍを計る、やはり用途不明の製品である。広葉樹を用い、片側の端部は徐々に細く、断面形も棒状になるが、もう一方は平面がカーブを持った剣形、断面は片側がやや膨れたｶﾏﾎﾞｺ形の板状に加工され、加工痕が明瞭に残る。ＳＤ－００２からの出土である。

この他に処理済みの未報告資料としては不明棒状加工品（ＳＤ－００２出土：931730123）・有頭棒状製品（Ⅲ区水田面出土：931730128）がある。

組合せ式案（机）

この資料は当初から注目され既に報告も済んでいるが、類例等事実報告以外の部分について若干触れておきたい。

これには大型と小型の２種類がある。大型品は脚と周囲を囲む桟の一部が有り、復元すると図－０の様になるものと考えられる。小型品は、４次調査で完形品が土圧で潰れた状態のものが出土して、その全容が初めて明らかになった資料であるが、５次調査でも部材の一部が出土している。各部材の仮名称と組合せ方法はFig.２に示すとおりである。一見非常に珍しい資料ではあるが、これまでにも案の部材と分からず不明木製品などとされた幾つかの出土例があり、普遍的でこそないものの、決して雀居だけの特殊な例でもない事が分かる。特に春日市辻田遺跡では、大型と小型両方の部材が出土しているほか履物も有り、木製品の組成において雀居遺跡と高い共通性を持つ点で注目される。ここでは現時点で筆者の目に触れたものを一覧表にまとめ、誠に不十分ではあるが今後の研究の端緒としたい（Tab.７)。分布は大分県を含む北部九州に限られているが、今回は全国的に調べたものではないので、他地域にも広がる可能性は十分にある。類例のご教示なども頂ければ幸いである。また公表されている実測図を見る限りでは、大型品は特に脚の類例が無いため比較のしようがないが、小型品は各部材の形状、法量とも大きな差違はなく、高い規格性を有していると言える。

用途については大型、小型共に脚が天板の上面に突出し、特に大型の場合桟が周囲を囲むことから四周が一段上がった構造となり、何らかの作業をするには不可能ではないが、障害が多いように感じられる。またいずれの例も、強度・実用性より木目の美しさという外観を意識した杉等の材が用いられていることから、重量物を載せたり力の掛かる作業をするためのものとは考えにくく、「供物等の供献台」的なものを想定したい。更に組み合わせ式であるという点に着目するなら、日常的に用いられたものではなく、何らかの特殊な機会にのみ組み立てられたか、または一定の場所に限らず、様々な場所に運ばれて使用された可能性が考えられよう。

遺跡名	所在	小型脚	天板	押え板	鼻栓	樹種	図版	大型脚	縦桟	横桟	天板	樹種	図版	時期	文献
雀居4次	福岡市博多区大字雀居	16	3	11	3	スギ	Fig152・153							弥生後期	1
雀居5次	福岡市博多区大字雀居	2	1			スギ	Fig89・94	2	2	1		スギ	Fig66～68	弥生後期	2
那珂久平	福岡市博多区那珂4丁目			1		針葉樹	Fig195							弥生後期？	3
辻田	福岡県春日市上白水	3	2？	1			第84・85図		1				第93図	弥生後期	4
拾六町ﾂｲｼﾞ	福岡市西区拾六町	1＋？				スギ	第32図							弥生後期？	5
平塚川添	福岡県甘木市大字平塚	2？	2？											弥生後期	10
上清水Ⅲ区	福岡県北九州市小倉南区横代	1	1	3		スギ	第66図							弥生末～古墳初頭	6
カキ	福岡県北九州市小倉南区横代	1？				スギ	第62図-0077							弥生後期	11
金山Ⅵ区	福岡県北九州市小倉南区横代東町	1？				ｺﾅﾗ属ｱｶｶﾞｼ亜属	第80図-70							古墳初頭	12
安国寺	大分県東国東郡国東町大字安国寺	2		3	2	カヤ	第99図							弥生後期	7
湯崎東	佐賀県杵島郡白石町大字湯崎	？		2			※								8・9

Tab. 7　組合せ式案出土地一覧

※湯崎東の木製品は未報告、現地にて実見
？はそれらしき部材はあるものの、断定できないものをあらわす

文献
1　下村智編1995『雀居遺跡2』福岡市埋蔵文化財調査報告書第406集　福岡市教育委員会
2　松村道博編1995『雀居遺跡3』福岡市埋蔵文化財調査報告書407集　福岡市教育委員会
3　力武卓治・大庭康時1987『那珂久平遺跡Ⅱ』福岡市埋蔵文化財調査報告書第163集　福岡市教育委員会
4　小池史哲編1979『山陽新幹線関係埋蔵文化財調査報告第12集』福岡県教育委員会
5　山口穣治・松村道博編1983『拾六町ツイジ遺跡』福岡市埋蔵文化財調査報告書第92集　福岡市教育委員会
6　佐藤浩司編1995『上清水遺跡Ⅲ区』－九州縦貫自動車道関係文化財調査報告35－北九州市埋蔵文化財調査報告書第160集　（財）北九州市教育文化財事業団・埋蔵文化財調査室
7　九州文化総合研究所編1958『安国寺』弥生式遺跡の調査　毎日新聞社
8　渡部俊哉1989「湯崎東遺跡」『佐賀県農業基盤整備事業に係る文化財調査報告7』佐賀県文化財調査報告第94集　佐賀県教育委員会
9　渡部俊哉1990「湯崎東遺跡」『佐賀県農業基盤整備事業に係る文化財調査報告8』佐賀県文化材調査報告第98集　佐賀県教育委員会
10　平塚川添遺跡を愛するみんなの会編1995『水に浮かぶムラのはなし』甘木市教育委員会
11　小方泰宏編1992『カキ遺跡（木製品編）－九州縦貫自動車道関係文化財調査報告27－』北九州市埋蔵文化財調査報告書第116集　（財）北九州市教育文化財事業団・埋蔵文化財調査室
12　山手誠治編1996『金山遺跡Ⅵ区－都市計画道路横代28号線建設工事に伴う埋蔵文化財調査報告書2－』北九州市埋蔵文化財調査報告書第184集　（財）北九州市教育文化財事業団・埋蔵文化財調査室

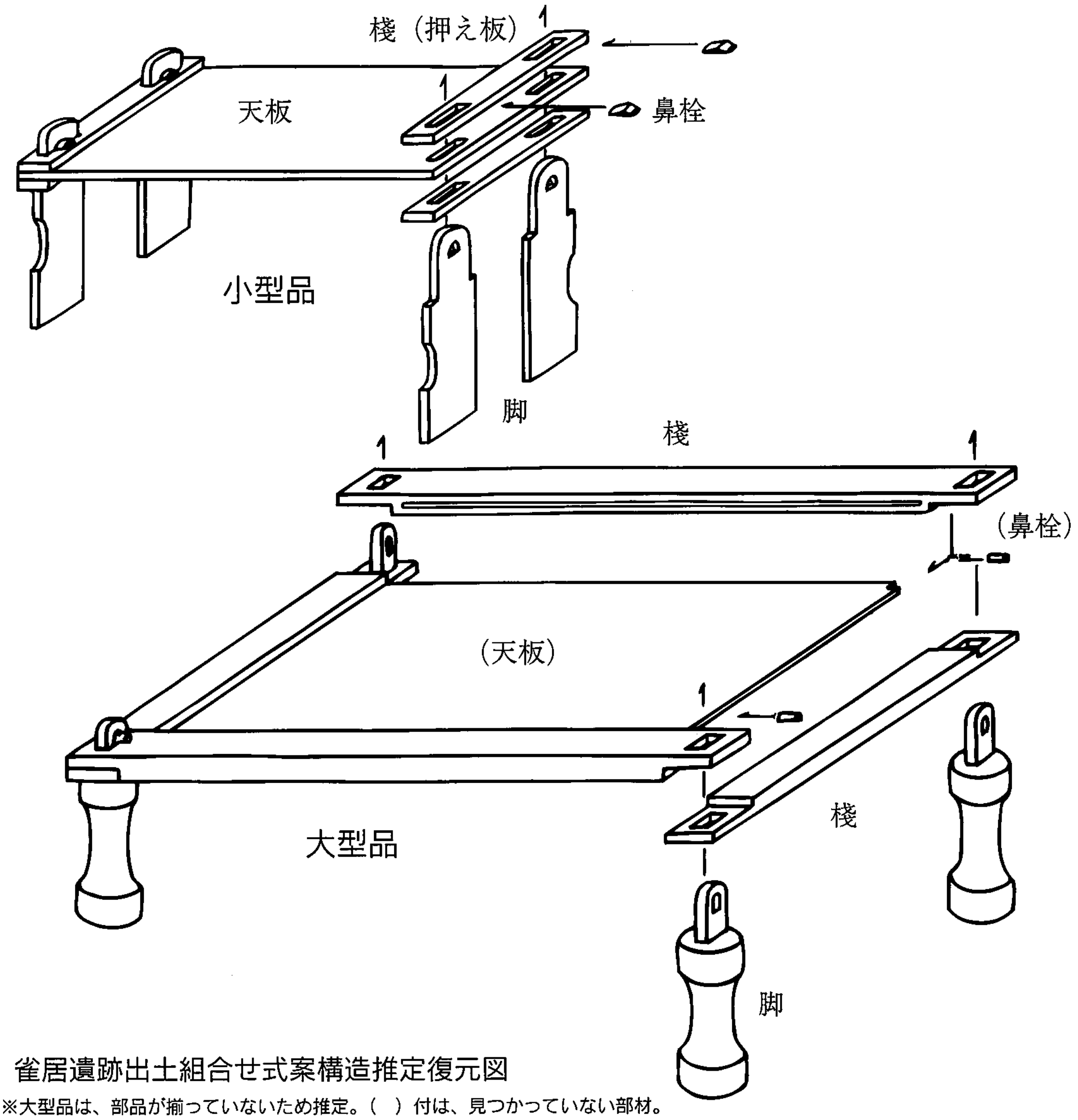


Fig. 2　雀居遺跡出土組合せ式案構造推定復元図
※大型品は、部品が揃っていないため推定。（　）付は、見つかっていない部材。

（4）おわりに

雀居遺跡の木製品は、5次調査出土分は昨年度に処理された短甲や盾を含めて主要な資料の処理は終了したが、この他にも大型の建築材や掘立柱建物の礎板が未処理で残されている。また前にも述べたように4次調査でも漆製品を含む多くの木製品が出土し、現在はナイロンシートによるパックを行って、埋蔵文化財センター収蔵庫にて未処理のまま仮保管されている。パックによる保管は水漬けよりも水質の劣化が少なく、遺物自身の劣化も抑制することができるとされているが、いずれにしても利用の便宜を考えた場合、早い段階での保存処理が望まれるところである。4次調査の木製品は極一部を除いて未報告のままであり、今後よりよい状態での早急な保存処理と共に、何らかの形での紹介ができればと考える次第である。

また小文をまとめるにあたり、下村智、細川金也、山口譲治、吉留秀敏の各氏には、類例のご教示を頂く等お世話になりました。末筆ながら記して感謝いたします。

註）

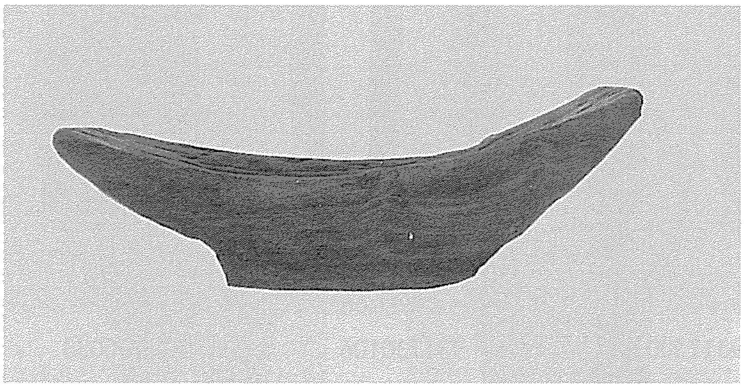
（1）松村道博編1995『雀居遺跡3』福岡市埋蔵文化財調査報告書第407集　福岡市教育委員会

（2）拙著1997「木製履物雑考」『九州考古学』第72号　九州考古学会

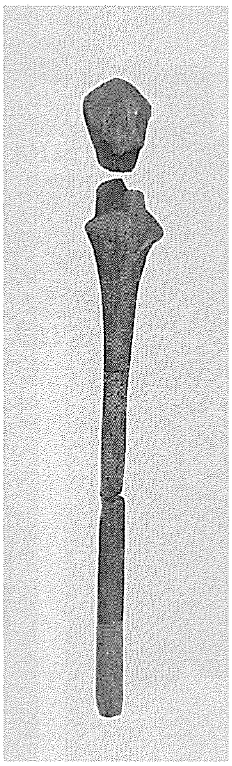
（3）山田康弘1996「鳥形木製品の再検討」『信濃』第48巻第4号　信濃史学会

Pl. 1保存処理木器①（雀居遺跡5次調査）

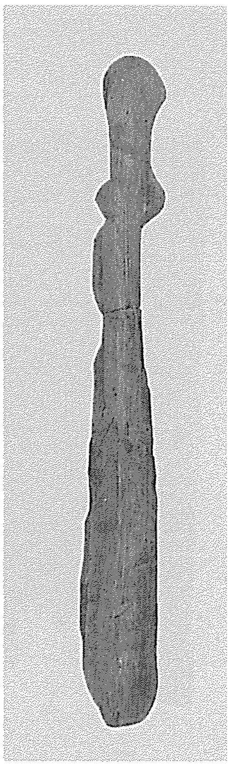
931730002



931730006

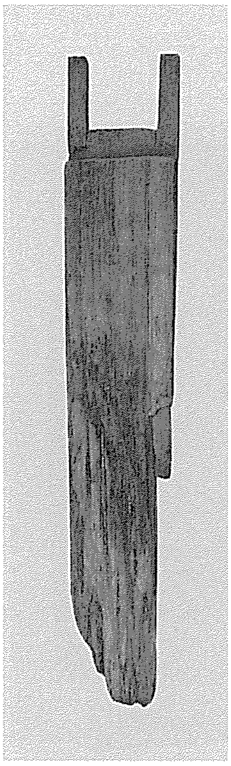


931730007

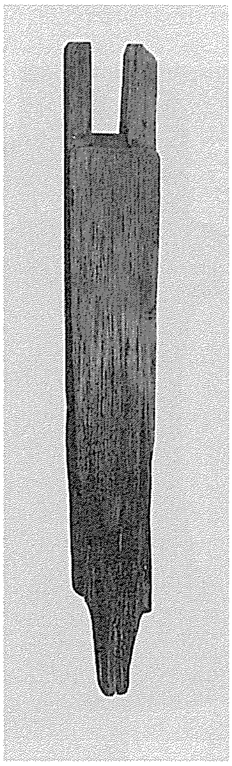


931730008

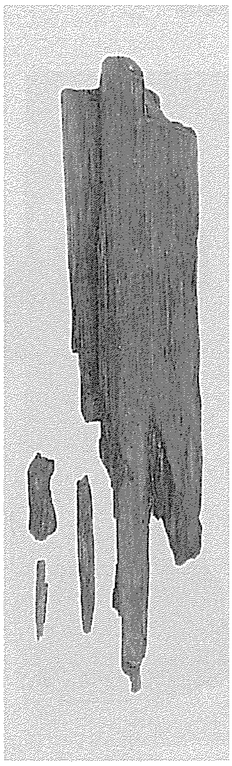
931730009



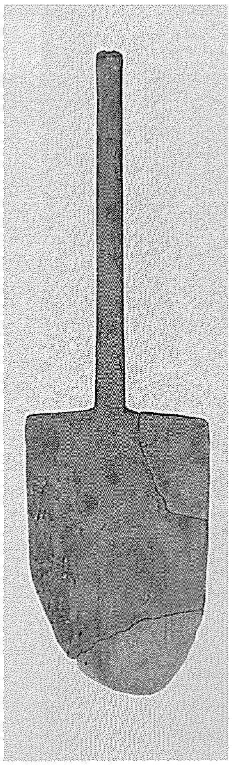
931730025



931730026



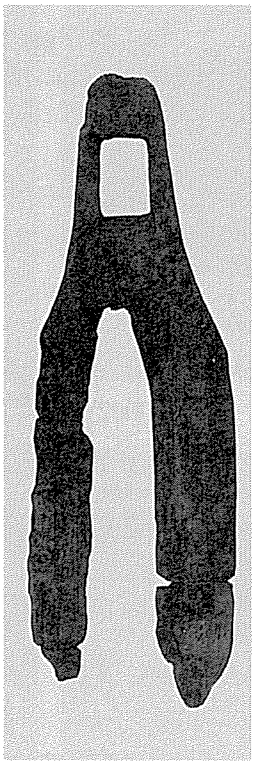
931730028

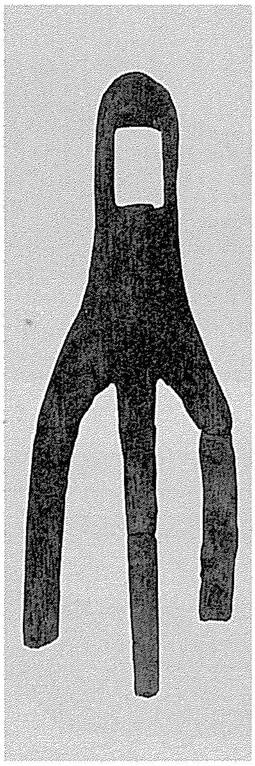


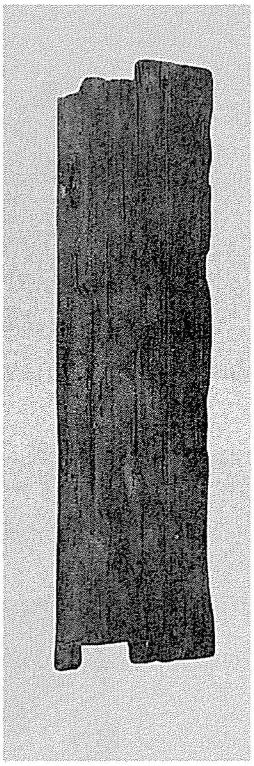
931730030

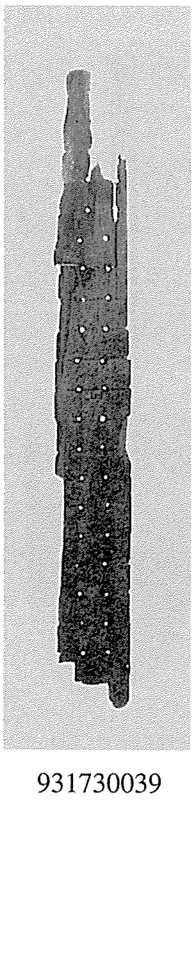
Pl. 2保存処理木器②（雀居遺跡5次調査）

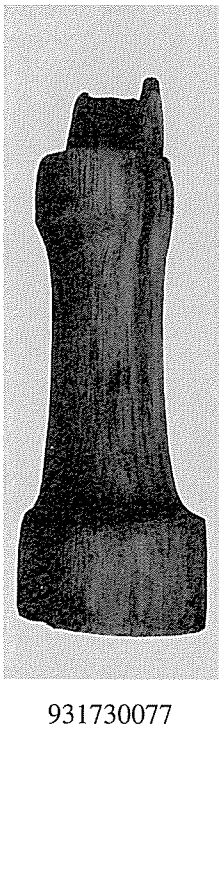
931730037

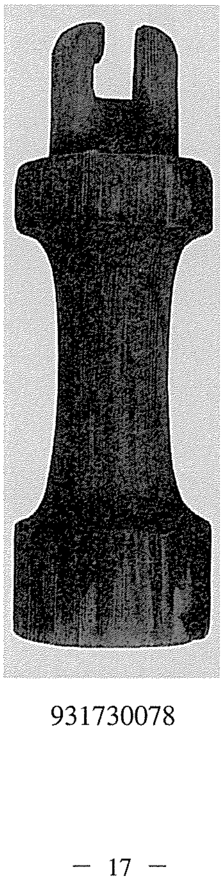

931730034

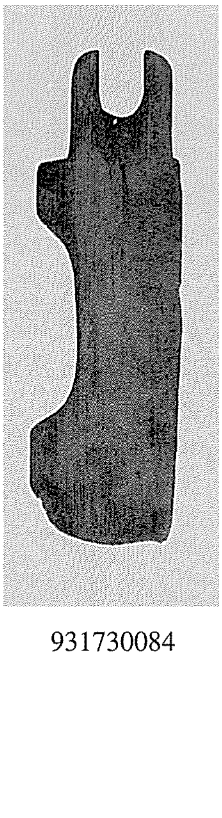

931730106

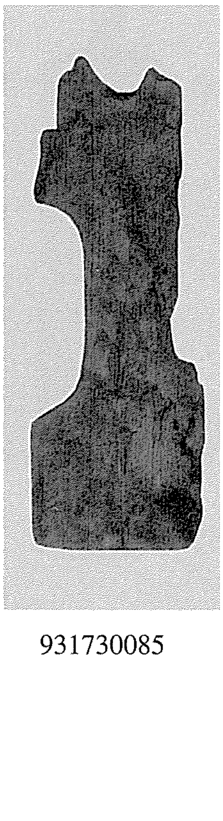

931730038


931730039

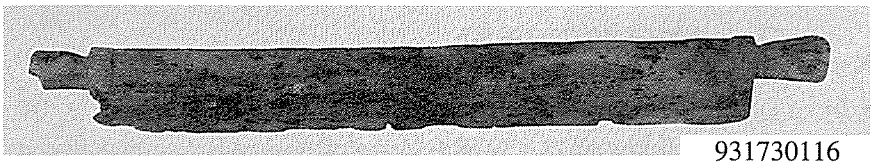

931730077


931730078

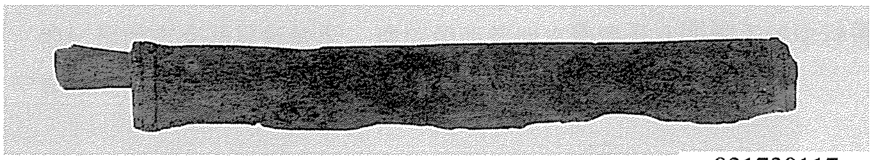

931730084


931730085

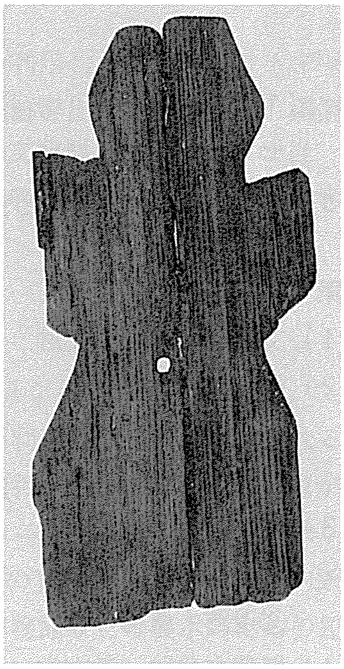
Pl. ３保存処理木器③（雀居遺跡5次調査）



931730116



931730117

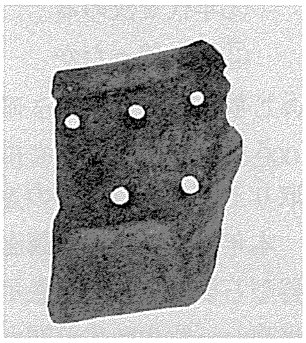


931730121

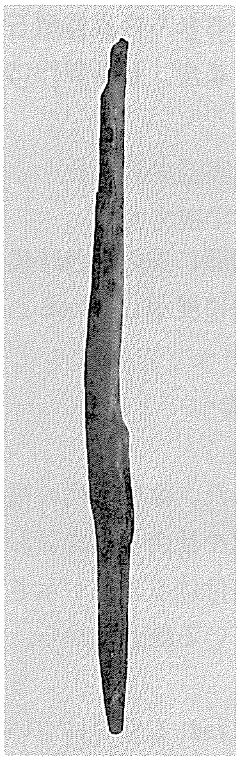
表

裏

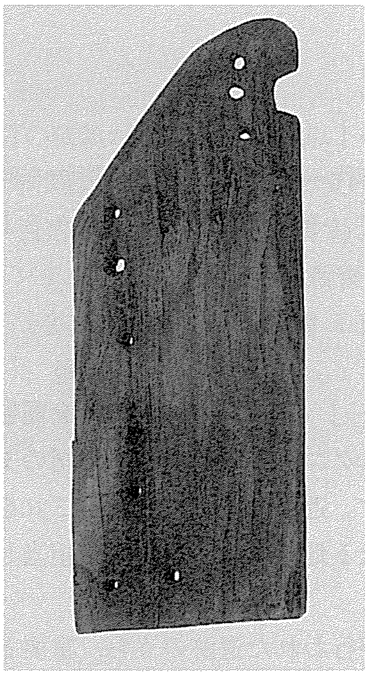
931730120



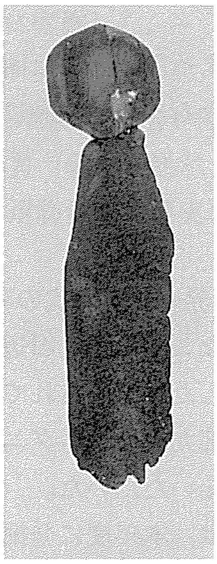
931730122



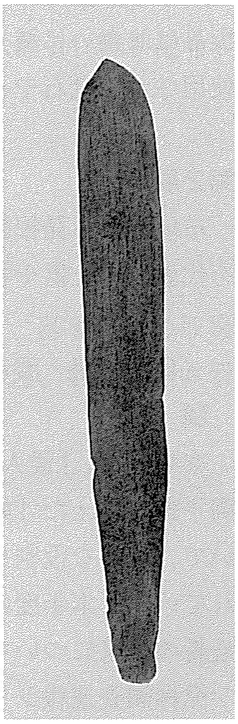
931730123



931730127



931730128



931730238

３．教育普及活動

（1）展　　示

当センターでは、埋蔵文化財および埋蔵文化財の保存・保護を展示の主テーマとし、市内出土の考古資料を展示し、下記の内容について説明している。

第１展示室

１）文化財と埋蔵文化財

２）発掘調査

①遺跡を見つける

②発掘調査の順序

３）遺跡と遺物の保存

①遺物の保存処理

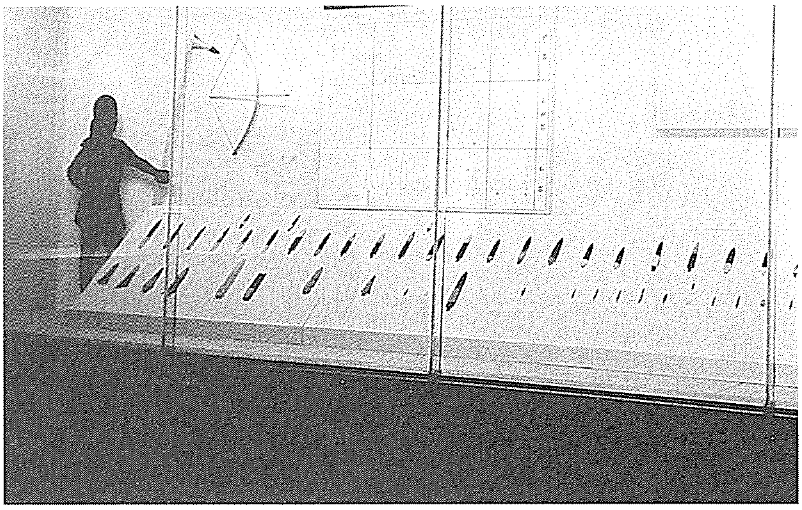
②遺跡・遺構の保存

４）埋蔵文化財（考古学）の研究

①年代を決める

②何に使ったか

５）最近の調査から



Pl. 4　速報展展示状況

このコーナーでは、市域内の調査のうち特に成果のあったもの、または話題になっているものを取り上げ、調査内容の速報展示を行っている。

本年度は、考古学講座「倭人伝の世界―弥生時代の考古学―」の開催に関連して、弥生時代の武器型石製品を集成、展示した。市内では縄文時代晩期（弥生時代早期）から石剣、磨製石鏃などが出現し、弥生時代前期から中期に増加、大型化する傾向がみられる。中期には石戈や戟（げき）とみられる石器も出現する。しかし、中期後半には青銅器、鉄器の増加にともないこれらの武器型石製品はしだいに減少していく。こうした変化をパネル展示とあわせて解説した。また、石器製作に使用された砥石や石錐も併せて展示した。

第２展示室

市域内から発掘調査によって出土した旧石器時代～江戸時代までの遺物を時代順に並べ、各時代を代表する土器や特徴的な石器・土製品によって、その移り変わりがわかるように展示している。

（2）講座・展示会

講　座

本年度は、「倭人伝の世界―弥生時代の考古学―」と題して7回の講座を開催した。弥生時代の福岡平野に栄えた「奴国（なこく）」や、周辺のクニグニについては、わが国の文化や社会の形成において、重要な役割を果たしたと考えられています。近年の調査や研究もこれを裏付ける成果が示されている。本年度は，北部九州のクニグニにあたる地域で遺跡の発掘を担当している調査員から、最新の成果について報告をいただいた。

発掘調査速報シリーズは，本年度に発掘調査が行われた遺跡のうち，重要と思われるものについて速報講演を実施したもので、今回は年度末にまとめて１回の講演を行った。

展示会

博多区まちづくり企画推進課の協力を得て，博多駅地下コンコースを利用した展示施設「fギャラリー」での展示を開始した。展示は「博多二千年展」と題し，博多遺跡群出土品，パネル，解説を展示した。

他に福岡市交通局藤崎駅，環境局西部埋立場事務所，市内小学校８校などの公共施設，民間ビルや養護施設等にも市内出土品展示コーナーを設置している。

（３）資料の提供

市民・小中学校・各種博物館・大学などの研究機関・出版社・報道関係などの利用希望に対して、考古資料や記録資料を提供している。資料利用は大きく館内利用と館外利用（貸出）に分けられる。館内利用件数は459件で、その内訳は考古資料の閲覧・実測などが160件、記録類・図書の閲覧が299件である。

館外利用（貸出）件数は151件で、考古資料3,033点と記録類等936点の利用があった。利用内訳は、1年以上の長期貸出27件（市内文化財関係展示施設４件は除く）、博物館などの展示のための短期貸出120件である。また、それ以外に館内および資料撮影が22件ある。

（４）図書の閲覧

1階図書コーナーに一般から小学生向けの歴史・考古学関係の図書約470冊を揃えている。ここの閲覧は自由である。また、３階図書室には歴史，考古学専門書や、調査報告書などの図書約26,000冊を揃えている。

（５）刊行物

○『福岡市埋蔵文化財センター年報』第15号　平成７（1995）年度　Ａ４版37ページ。平成9年2月28日発行。文化財関係機関・図書館などに配布。

○『見学のしおり』(展示案内パンフレット)、Ｂ５版変形４つ折り８ページ。入館者に無料配布。

（６）博物館実習

－博物館学実習の依頼があったので、以下のように実施した。－

① 実習期間：平成８年７月16日～７月29日までの２週間

② 実　習　生：２名（西南大学文学部児童教育科、同文学部国際文化学科）

③ 実習内容：オリエンテーション（１日)、教育普及実習（貸出・展示、４日)、図書資料の取扱い実習（２日）考古学講座実習（１日)、遺物保存処理実習（１日)、収蔵管理実習（１日)、施設見学（１日）

Tab. 8　考古学講座「倭人伝の考古学－弥生時代の考古学－」一覧

回	年 月 日	講　演　内　容	講　師	受講数
1	H7.5.18	奴国王墓とその周辺　－旧筑紫郡域－	春日市教育委員会　平田定幸氏	122人
2	H7.6.22	奴国の東　－粕屋・宗像郡域－	福岡市埋文センター　吉留秀敏氏	121人
3	H7.7.20	伊都国　－糸島郡域－	前原市教育委員会　川村　博氏	127人
4	H7.8.24	末盧国　－唐津市域－	唐津市教育委員会　田島龍太氏	100人
5	H7.9.14	奴国の集落　－福岡市域－	埋蔵文化財課　菅波正人氏	97人
6	H7.10.12	一支国、対馬国　－壱岐・対馬－	長崎県教育委員会　副島和明氏	92人
7	H7.11.9	奴国とその社会　－総括として－	福岡県教育委員会　橋口達也氏	93人

Tab. 9　発掘調査速報シリーズ

	年 月 日	講　演　内　容	講　師	受講数
1	H8.3.8	平成8年度遺跡調査総めくり　－市域内の調査から－	埋蔵文化財課　山口譲治氏	99人

Pl. 5　考古学講座受講風景

Tab. 10　平成８年度資料貸出等一覧表

登録番号	受付日	申請書	資料区分	資料遺跡	点数	貸出日
96-001	960426	横浜市歴史博物館	撮影許可	柏原他		－
96-002	960430	北九州市考古博物館	撮影許可	比恵	2	－
96-003	960414	東京書籍株式会社	写真	板付、藤崎他	7	960502
96-004	960517	北九州市考古博物館	遺物	比恵	3	960717
96-005	960517	北九州市考古博物館	写真	比恵	3	960523
96-006	960517	釜山廣域市長	撮影許可	西新	1	－
96-007	960528	瀬戸市埋蔵文化材センター	撮影許可	博多	16	－
96-008	960528	瀬戸市埋蔵文化財センター	遺物写真	博多	22	960820
96-009	960530	国立歴史民俗博物館	写真	雀居	4	960530
96-010	960604	講談社	写真	今宿五郎江	1	－
96-011	960607	雄山閣出版	写真	拾六町ツイジ他	24	960607
96-012	960520	白井克也	撮影許可	宮ノ前	6	－
96-013	960613	杉本厚典	撮影許可	板付、比恵他		－
96-014	960618	広島県立歴史博物館	撮影許可	博多	1	－
96-015	960618	広島県立歴史博物館	遺物	博多	1	960924
96-016	960617	福岡市博物館	写真	博多	3	960717
96-017	960618	横浜市歴史博物館	撮影許可	柏原	17	－
96-018	960614	国立歴史民俗博物館	使用許可	雀居	1	－
96-019	960628	至文堂	写真	金隈	1	960703
96-020	960628	甘木歴史資料館	ビデオテープ	土器焼き	1	960726
96-021	960702	総務局国際企画課	写真	吉武、板付他	5	960707
96-022	960702	総務局企画調整部	写真	板付	1	960702
96-023	960709	南区まちづくり企画推進課	書籍	野多目	1	960709
96-024	960710	西南学院大学	遺物	羽根戸原Ｃ	20	更新
96-025	960710	リコーテクノネット九州支社	遺物	比恵	3	更新
96-026	960710	文化財整備課	遺物	板付、金隈、野方	174	更新
96-027	960712	南区まちづくり企画推進課	図面	博多	3	960712
96-028	960718	野多目小学校	遺物	野多目	64	更新
96-029	960718	協栄福岡年金ホーム	遺物	唐原	6	更新
96-030	960719	甘木歴史資料館	遺物写真	西新、比恵	7	960820
96-031	960723	福岡市博物館	遺物写真	那珂、比恵	71	960719
96-032	960731	株式会社Ｐ＆Ｃ	写真	板付	1	960731
96-033	960730	集英社	写真	板付	2	960731
96-034	960728	板付北小学校	遺物	板付	10	更新
96-035	960728	馬出小学校	遺物	馬出	6	更新
96-036	960806	横浜市歴史博物館	遺物写真	柏原	63	960810
96-037	960808	島根県教育委員会	写真	西新	4	961003
96-038	960810	城陽市歴史民俗資料館	写真	金隈	1	－
96-039	960810	国立歴史民俗博物館	写真	那珂	5	960815
96-040	960810	名護屋城博物館	遺物写真	博多	20	960821
96-041	960816	福岡市博物館	写真遺物	博多	73	960822
96-042	960820	神戸市教育委員会	写真遺物	博多	18	960821
96-043	960820	博多区まちづくり企画推進課	写真遺物	博多	52	更新
96-044	960820	博多区まちづくり企画推進課	写真遺物	博多	13	960726
96-045	960828	三苫小学校	写真遺物	三苫	74	960830
96-046	960817	至文堂	写真	カルメル、金隈、那珂	6	960824
96-047	960817	至文堂	使用許可	金隈	1	－
96-048	960824	第一学習社	写真	板付	1	960903
96-049	960830	環境局西部埋立事務所	遺物	大原	16	970122
96-050	860903	中央公論社	使用許可	拾六町ツイジ	1	－
96-051	960903	岡本顕實	書籍		2	960903
96-052	960904	小郡市教育委員会	遺物	諸岡	5	960925
96-053	960904	朝日新聞社出版局	写真	雀居	1	960906
96-054	960904	朝日新聞社出版局	使用許可	雀居	2	－
96-055	960904	池上曽根記念事業実行委員会	写真	板付	1	960906
96-056	960904	朝日新聞社出版局	写真	雀居	4	960906
96-057	960904	朝日新聞社出版局	使用許可	雀居	2	－
96-058	960912	西区まちづくり企画推進課	写真遺物	広石、野方他	126	960912
96-059	960910	新宮町長	使用許可	海の中道	3	－
96-060	960912	国立歴史民俗博物館	写真	那珂	1	960830
96-061	960916	浜島書店	写真	博多	2	960920
96-062	960919	板付中学校	ビデオテープ	博多	1	960920
96-063	960919	池上曽根記念事業実行委員会	使用許可	板付	1	－
96-064	960924	板付中学校	写真他	雑餉隈、井相田	9	961003
96-065	960924	（有）ボウオフィス	撮影許可	広石、野方他	68	－
96-066	960924	（有）ボウオフィス	書籍	広石他	2	960924

96-067	960925	大牟田市教育委員会	撮影許可	老司	4	－
96-068	960926	西区まちづくり企画推進課	ビデオテープ	吉武、野方	8	960926
96-069	961001	総社市教育委員会	ビデオテープ	土器焼き	1	961002
96-070	960927	唐津市教育委員会	遺物	比恵	1	960927
96-071	961003	講談社	使用許可	四箇、板付	2	－
96-072	961014	日田市まちづくりフォーラム96	写真	比恵、板付	4	961008
96-073	961015	中村利至久	使用許可	鋤崎、丸隈山		－
96-074	961009	福岡市博物館	遺物写真	鋤崎、丸隈山他	51	961025
96-075	961009	日田市まちづくりフォーラム96	遺物	板付	17	961009
96-076	961009	児玉さやか	写真	三苫、和田Ｂ	8	961009
96-077	961010	賀茂小学校	写真	鶴町	28	961010
96-078	961016	世界文化社	写真	元寇	8	961018
96-079	961016	朝日新聞週間百科編集部	写真	鴻臚館、博多	3	961018
96-080	961024	講談社	写真	吉武	1	961030
96-081	961024	福岡市博物館	遺物	博多	65	961031
96-082	961113	第一学習者	写真	拾六町、雀居	2	961116
96-083	961107	講談社	使用許可	赤穂浦、今宿	10	－
96-084	961108	中央公論社	使用許可	鴻臚館	1	－
96-085	961114	南区まちづくり企画推進課	写真	野多目	13	961114
96-086	961113	朝日新聞社	写真	三苫永浦	1	961113
96-087	961108	賀茂小学校	遺物	次郎丸、鶴町他	37	961108
96-088	961030	ランダムコミュニケーションズ	写真	野方、金隈他	12	961019
96-089	961116	第一学習社	写真	那珂休平	1	961118
96-090	961120	大澤正己	遺物写真	比恵	2	961120
96-091	961120	北九州市立考古博物館	撮影許可	飯倉D他	21	－
96-092	961116	羽曳野市長	写真	老司	1	961122
96-093	961122	三重県埋蔵文化財センター	撮影許可	博多		－
96-094	961122	米倉美和子	撮影許可	那珂	6	－
96-095	961122	白井克也	写真	博多	18	961122
96-096	961203	青森県埋蔵文化財調査センター	撮影許可	諸岡、下月隈他		－
96-097	961209	共同テレビジョン	書籍	元寇	1	961206
96-098	961129	南区まちづくり企画推進課	遺物写真	野多目、和田Ｂ	106	961206
96-099	961210	村井大樹	撮影許可	比恵		－
96-100	961213	NHKスペシャル故宮プロジェクト	写真	博多	5	961213
96-101	961217	学習研究社	使用許可	板付	1	－
96-102	961217	正進社	写真	博多	1	961219
96-103	961218	倉敷市教育委員会	遺物	比恵、高畑	4	970122
96-104	961220	総社市教育委員会	撮影許可	板付、那珂、比恵		－
96-105	961224	南区まちづくり企画推進課	遺物写真	野多目、和田Ｂ	28	961224
96-106	961226	鹿児島市教育委員会	写真	元寇	1	970107
96-107	970108	KBC九州朝日放送	撮影許可	博多	1	－
96-108	970109	メルプランニング	使用許可	板付、金隈	2	－
96-109	970118	中村友博	写真	比恵	2	970118
96-110	970122	講談社	使用許可	拾六町ツイジ	1	－
96-111	970114	新発見速報展実行委員会	写真	博多	13	970131
96-112	970203	春日市教育委員会	写真	那珂、比恵	3	970228
96-113	970203	国立歴史民俗博物館	遺物	海の中道	2	970225
96-114	970203	国立歴史民俗博物館	写真	鋤崎	1	970204
96-115	970203	講談社	写真	三宅	2	970206
96-116	970212	史跡整備担当課	遺物	比恵	1	970214
96-117	970220	世界文化社	写真	博多	2	970224
96-118	970220	大阪弥生文化博物館	遺物	今山、藤崎他	24	更新
96-119	970224	日立デジタル平凡社	使用許可	宮ノ前、金隈	1	－
96-120	970221	森本朝子	撮影許可	博多	30	－
96-121	970229	野島永	撮影許可	比恵、東入部	15	－
96-122	970306	風土文化社	写真	板付	2	－
96-123	970306	菊池市教育委員会	遺物	博多		更新
96-124	970305	神戸市教育委員会	遺物	有田	3	更新
96-125	970309	NHK番組制作局	撮影許可	博多	92	－
96-126	970310	小学館	写真	城ノ原	1	970311
96-127	970314	雄山閣出版	写真	博多	1	970315
96-128	970318	名護屋城博物館	撮影許可	博多	30	－
96-129	970319	岩波出版	使用許可	有田七田前	1	－
96-130	970319	福岡市交通局	遺物	藤崎	4	更新
96-131	970319	佐土原町教育委員会	撮影許可	名島	25	－
96-132	970311	九州歴史資料館	遺物	那珂他	4	970410
96-133	970314	広島県立歴史博物館	遺物	博多	6	更新
96-134	970320	市川考古博物館	遺物	西新	1	更新
96-135	970321	山本善稔	写真	有田	1	970325
96-136	970325	新宮町教育委員会	遺物	有田七田前	3	更新
96-137	970326	羽曳野市教育委員会	撮影許可	博多	3	－
96-138	970326	国立歴史民俗博物館	遺物	板付、三筑他	25	更新
96-139	970325	島根県教育委員会他	遺物	博多	4	970410
96-140	970326	株式会社談	写真	板付	2	970327
96-141	970327	板付小学校	遺物	板付	15	更新
96-142	970328	三苫小学校	遺物写真	三苫、永浦他	72	更新
96-143	970329	雄山閣出版	写真	博多、海の中道	4	970330
96-144	970330	群馬県立歴史博物館	遺物	藤崎	2	更新
96-145	970331	福岡市博物館	遺物	市内各所	1,369	更新

Tab. 11　入館者総数一覧表

区分		(日)	4月 25	5月 27	6月 26	7月 26	8月 27	9月 25	10月 27	11月 26	12月 23	1月 23	2月 24	3月 26	合計(人) 305	比率(%)
個人	一般	男	175	175	170	129	164	149	136	165	94	122	126	176	1,781	53.1%
		女	47	76	76	59	82	40	55	31	27	39	46	74	652	19.4%
		小　計	222	251	246	188	246	189	191	196	121	161	172	250	2,433	72.5%
	学生	小学生	40	37	7	14	59	11	3	4	6	8	3	6	198	5.9%
		中学生	10	15	3	27	32	7	17	2	6	4	1	2	126	3.8%
		高校生	9	4	5	9	14	8	0	3	0	0	0	2	54	1.6%
		大学生	19	24	29	43	82	94	60	62	35	8	23	28	507	15.1%
		その他	3	2	0	2	9	3	0	3	5	3	2	5	37	1.1%
		小　計	81	82	44	95	196	123	80	74	52	23	29	43	922	27.5%
	合計 (a)		303	333	290	283	442	312	271	270	173	184	201	293	3355	100.0%
団体	一　般		90	159	180	171	104	160	313	124	87	6	36	234	1664	65.2%
	(団体数)		2	2	4	4	1	6	7	2	3	0	2	7	40	
	小学生		178	229	137	0	1	150	131	0	0	0	0	0	826	32.3%
	(団体数)		5	2	3	0	0	1	1	0	0	0	0	0	12	
	中学生		0	0	0	0	12	0	0	0	0	0	0	0	12	0.5%
	(団体数)		0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	
	高校生		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%
	(団体数)		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	大学生		0	0	0	0	45	0	0	0	0	7	0	0	52	2.0%
	(団体数)		0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0	2	
	合計 (b)		268	388	317	171	162	310	444	124	87	13	36	234	2554	100.0%
	(団体数計)		7	4	7	4	3	7	8	2	3	1	2	7	55	
総計 (a+b)			571	721	607	454	604	622	715	394	260	197	237	527	5909	

Tab. 12　個人入館者年齢区分一覧表

区　分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計(人)	比率(%)
0～19才	68	62	16	53	115	31	21	12	21	15	6	15	435	13.0%
20～29才	40	49	66	70	115	128	92	91	55	31	48	62	847	25.2%
30～39才	45	50	65	53	54	39	37	46	30	41	46	61	567	16.9%
40～49才	73	116	83	56	100	73	62	54	35	37	50	61	800	23.8%
50～59才	54	34	44	25	29	21	32	42	20	37	30	41	409	12.2%
60～69才	19	13	13	24	20	15	23	19	9	16	16	39	226	6.7%
70～79才	4	7	2	2	7	5	4	5	3	6	5	12	62	1.8%
80才以上	0	2	1	0	2	0	0	1	0	1	0	2	9	0.3%
計	303	333	290	283	442	312	271	270	173	184	201	293	3355	100.0%

Tab. 13　個人入館者住所区分一覧表

区　分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計(人)
福　岡　市	229	237	189	176	247	193	173	187	119	117	131	159	2157
福岡県内	35	46	62	47	86	58	36	22	20	32	29	55	528
県　　外	39	49	36	53	107	61	57	57	32	35	39	79	644
国　　外	0	1	3	7	2	0	5	4	2	0	2	0	26
計	302	333	290	283	422	312	271	270	173	184	201	293	3355

図　書

《平成８年度図書受入れ状況》　　(平成９年３月31日現在)

購入　　３４３冊（一般　　１４１冊、雑誌２０２冊）
受贈　２,０７８冊（一般　２,００７冊、雑誌　７１冊）
計　２,４２１冊（一般　２,１４８冊、雑誌２７３冊）

《８年度末蔵書数》

購入　６,６６７冊
受贈２１,２８９冊
計　２８,６２２冊

※総入力件数は、平成８年度の新規受入れ、遡上データを併せて１８,０４８冊となる。

○定期受入れ雑誌は一部受贈を含めて以下の39種である。

（国内発行）			（国外発行）	
URC資料季報	鴻都	日本考古学年報	韓国上古史学報	考古学報
貝塚	古代を考える	CSN西日本文化	百済研究	考古
九州文化史研究所紀要	古代学研究	博物館研究	朝鮮考古研究	考古与文物
季刊考古学	古代学研究所研究紀要	博古研究	韓國考古学報	故宮博物院院刊
月刊考古学ジャーナル	古代学評論	東アジアの古代文化	（韓国）	四川文物
月刊文化財発掘出土情報	古文化談叢	ふるさとの自然と歴史		中原文物
考古学雑誌	信濃	物質文化		農業考古
考古学研究	都府楼	文化庁月報		文　物
考古学論業	日本研究	文明のシルクロードMuseum Kyushu		（中国）

平成８（1996）年度予算

歳　入　　(単位：千円)

事　項	金　額	摘　要
国庫支出金	1,000	出土遺物保存処理事業に対する補助金
県支出金	500	
諸収入	41	雇用保険料収入など
合　計	1,541	

歳　出　　(単位：千円)

事　項		金額	摘　要
管理運営費	一般管理費	2,763	一般事務経費
	施設管理費	31,281	光熱水費、施設管理の一部委託、保守点検委託等
事業費	調査研究費	2,413	参考図書購入、調査資料整理補助賃金等
	資料分類整理費	1,534	資料整理用品購入等
	教育普及活動費	870	年報等印刷、講座の実施
	資料保存整備費	1,027	資料保存用消耗品購入等
	出土遺物保存処理費	2,003	遺物保存処理経費
	資料整理収蔵費	7,908	遺物・記録類の整理・収蔵経費
施設整備費		42,646	老朽化備品買替・センター増築実施設計他
合　計		92,515	

Ⅱ　埋蔵文化財センターの概要

機　構　と　職　員

(1)　福岡市埋蔵文化財行政の組織

教育委員会
｜
教　育　長
｜
教　育　次　長
｜
文　化　財　部

- 文化財整備課 ── 文化財の指定、史跡の保存・管理
- 課　　　長 ── 史跡整備担当（鴻臚館跡等）
- 埋蔵文化財課
  - 第１係　早良区・城南区・西区に係る埋蔵文化財の発掘調査
  - 第２係　博多区・東区・南区に係る埋蔵文化財の発掘調査
- 課　　　長 ── 大規模事業等担当（大学移転等）
- 埋蔵文化財センター
  - 管理係　施設の管理運営、考古学的資料の収蔵・保存・展示
  - 主任文化財主事　考古学的資料の収蔵・保存・展示

(2)　埋蔵文化財センター職員（8年度）

職　名	氏　名	摘　要	職　名	氏　名	摘　要
所　　長	折　尾　　学	技術吏員	文化財主事	吉　留　秀　敏	技術吏員
管理係長	井　上　維公男	事務吏員	文化財主事	比　佐　陽一郎	技術吏員
主任文化財主事	二　宮　忠　司	技術吏員			

福岡市埋蔵文化財センター条例

（昭和56年12月21日　条例第66号）

（設置）

第１条　発掘調査等で出土した考古学的資料（以下「資料」という。）の保存と活用を図り、もって市民文化の向上に資するため、福岡市埋蔵文化財センター（以下「センター」という。）を福岡市博多区井相田２丁目に設置する。

（事業）

第２条　センターは、次の各号に掲げる事業を行なう。

(1)　資料の収集、整理及び保存に関すること。

(2)　資料を展示し、公開すること。

(3)　資料の専門的調査研究を行うこと。

(4)　前３号に掲げるもののほか、センターの設置の目的達成に必要なこと。

（職員）

第３条　センターに所長その他必要な職員を置く。

（入館の制限）

第４条　教育委員会は、次の各号のいずれかに該当する者に対し、入館を拒み、又は退去を命ずることができる。

(1)　センターの管理上必要な指示又は指導に従わない者

(2)　センターの管理上支障があると認められる者

（資料の貸出し）

第５条　教育、学術若しくは文化に関する機関若しくは団体又は学術研究のため特に資料を利用しようとする者は、教育委員会の許可を受けて資料の貸出しを受けることができる。

2　前項の貸出しは、資料の保管について安全が確保できると認められる場合に限り行なうものとする。

（損害賠償）

第６条　資料の観覧者又は貸出しを受けた者が、その責めに帰すべき理由によりセンターの建物若しくは施設又は資料を破損し、減失し、又は汚損して本市に損害を与えたときは、これらを現状に復し、又はその損害を賠償しなければならない。

（委任）

第７条　この条例に定めるもののほか、センターの管理に関し必要な事項は、教育委員会規則で定める。

附　則

この条例は、公布の日から起算して３月を越えない範囲内において教育委員会規則で定める日から施工する。

（昭和57年教規則第３号により　昭和57年２月22日から施行）

福岡市埋蔵文化財センター条例施行規則

（昭和56年1月25日 教育委員会規則第4号）

改正．昭和61－教規則2．平成3－教規則7．平成4－教規則3

（趣旨）

第1条　この規則は、福岡市埋蔵文化財センター条例（昭和56年福岡市条例第66号。以下「条例」という。）の施行に関し必要な事項を定めるものとする。

（組織）

第2条　福岡市埋蔵文化財センター（以下「センター」という。）の事務を行なうため、センターに管理係を置く。

（職員）

第3条　センターに所長、係長、吏員その他の職員を置く。

2　前項の職員のほか、特定事務を担当させるため、センターに主任文化財主事及び文化財主事を置くことができる。

3　所長、係長、主任文化財主事及び文化財主事は、吏員のうちから命ずる。

4　係長又は主任文化財主事のうちから総括係長を命ずることがある。

5　所長及び係長は、上司の命を受けてセンター又は係の事務を掌理し、所属職員を指揮監督する。

6　主任文化財主事及び文化財主事は、上司の命を受けて担当事務を処理する。

（職務権限の代行）

第4条　所長に事故がある場合、又は所長が欠けた場合において、特に事務取扱者を命じないときは、係長がその係に属する事務について所長の職務権限を代理して行なう。ただし、重要又は異例な事務については、文化財部長の指揮を受けなければならない。

2　前項の規定により所長の職務権限を代理して行なう者がいないときは、文化財部長が行なう。

（開館時間）

第5条　センターの開館時間は、午前9時から午後5時までとする。ただし、教育長は、必要があると認める場合は、これを変更することができる。

（休館日）

第6条　センターの休館日は次のとおりとする。ただし、教育長は、必要と認める場合には、これを変更し、又は臨時に休館日を設けることができる。

(1)　毎週月曜日

(2)　12月28日から翌年1月4日まで

（入館者の心得）

第7条　センターに入館する者は、次の各号に掲げる事項を守らなければならない。

(1)　所定の場所以外の場所で飲食し、喫煙し、又火気を使用しないこと。

(2)　騒音を発する等他人に迷惑を及ぼす行為をしないこと。

(3)　危険物又は動物を持ち込まないこと。

(4)　所定の場所以外に立ち入らないこと。

(5)　職員が行なう管理上必要な指示又は指導に従うこと。

（貸出）

第8条　条例第5条第1項の規定による資料の貸出しを受けようとする者は、福岡市埋蔵文化財センター資料貸出許可申請書（様式第1号）を教育長に提出しなければならない。

（寄贈等）

第9条　センターに資料を寄贈し、又は寄託しようとする者は、教育委員会に申し出なければならない。

2　寄託を受けた資料の貸出しは、寄託者の承諾を得て行うものとする。

（委任）

第10条　この規則の施行に関し必要な事項は、教育長が定める。

附　則

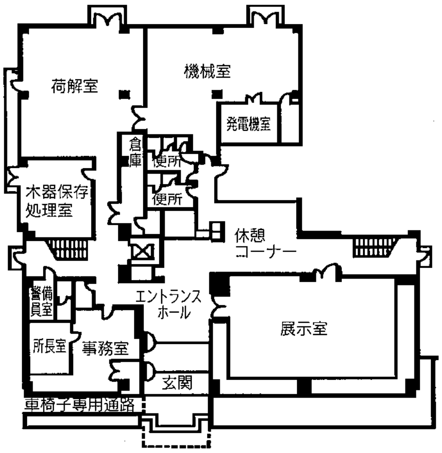
この規則は、昭和57年2月22日から施行する。

施 設 の 概 要

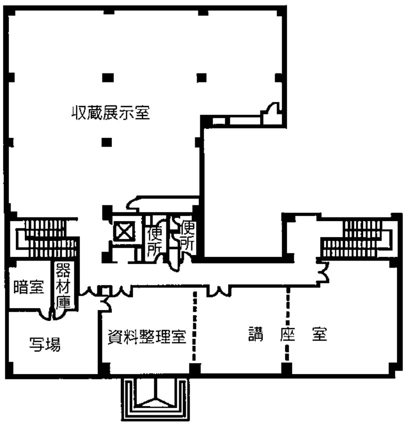
1. 開館時（昭和57年２月）

区　　分	内　　　　容
所 在 地	福岡市博多区井相田２丁目１番94号
敷地面積	4,000㎡
構　　造	鉄筋コンクリート造３階建（一部２階建）
建築面積	1,015㎡
延床面積	1,992㎡（内、収蔵庫面積345㎡）
建 設 費	504,063千円 内　　訳（工事費483,056千円・設計監理費21,007千円） 財源内訳（国庫補助金65,000千円・市　費439,063千円）
用 地 費	242,921千円
工　　期	着工　昭和55年12月28日　竣工　昭和56年10月23日
主要施設	１階…事務室・エントランスホール・展示室・木器保存処理室・荷解室 ２階…収蔵展示室・資料整理室・講座室・写場・暗室 ３階…記録類収蔵室・製図室・金属器保存処理室・特別収蔵室 屋外…木器用プール

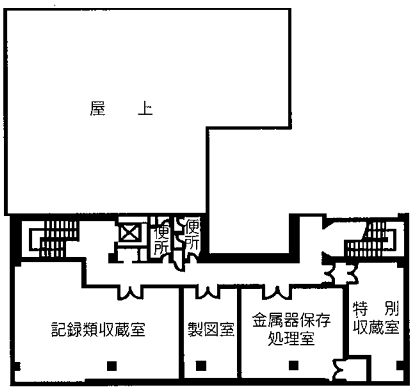
☆各階平面図



1階平面図



2階平面図



3階平面図

2. 増築時（昭和61年3月、当初計画に基づく第2期工事として実施）

区　　分	内　　　　容
構　　造	鉄筋コンクリート造２階建
建築面積	1,000㎡
増築面積	1,994㎡（全体床面積3,986㎡）
建 設 費	235,461千円 内訳（工事費222,865千円・設計監理費8,950千円・事務費等3,646千円）
工　　期	着工　昭和60年8月30日　竣工　昭和61年3月29日
主要施設	１階…収蔵庫788㎡・金属器保存処理室61㎡・第2展示室127㎡ ２階…収蔵庫980㎡
設　　備	収蔵棚（2階のみ、1階は将来設置）・ダムウエーター・空調機器（金属器保存処理室）

3. 現在の施設と規模

敷地面積……4,000㎡
延床面積……3,986㎡

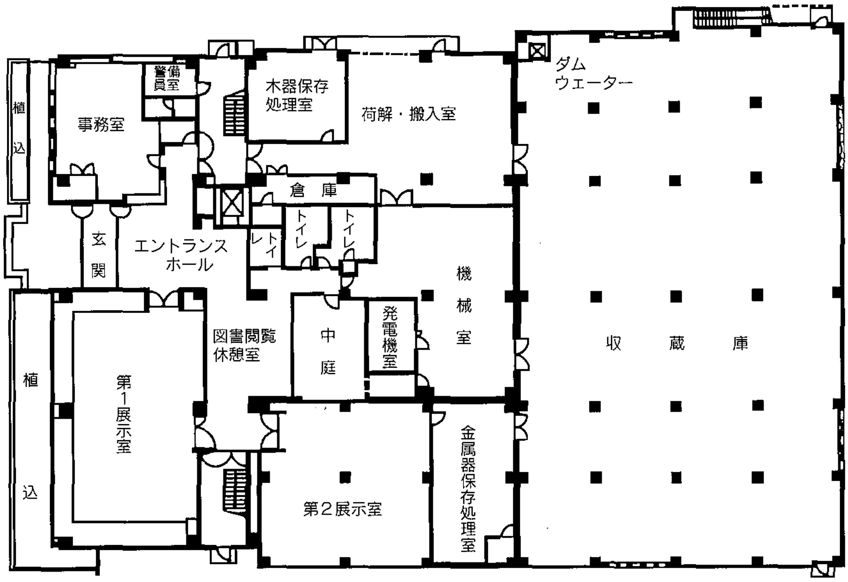
1 階	1,796㎡
収蔵庫	788㎡
荷解・搬入室	144㎡
木器保存処理室	40㎡
金属器保存処理室	61㎡
事務室	66㎡
警備員室	9㎡
第1展示室	167㎡
第2展示室	127㎡
図書閲覧休憩室	39㎡
エントランス・ホール	84㎡
機械室	129㎡
その他	142㎡

2 階	1,736㎡
収蔵庫	1,325㎡
資料整理室(1)	58㎡
写場・暗室	63㎡
講座室	140㎡
その他	150㎡

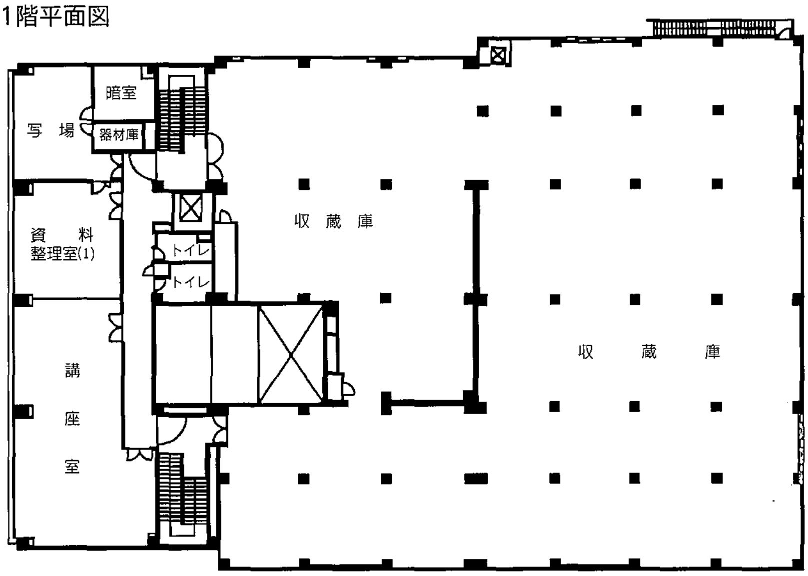
3 階	415㎡
特別収蔵庫	415㎡
記録類収蔵庫(1)	52㎡
記録類収蔵庫(2)	37㎡
資料整理室(2)	73㎡
図書室	77㎡
その他	128㎡

屋上

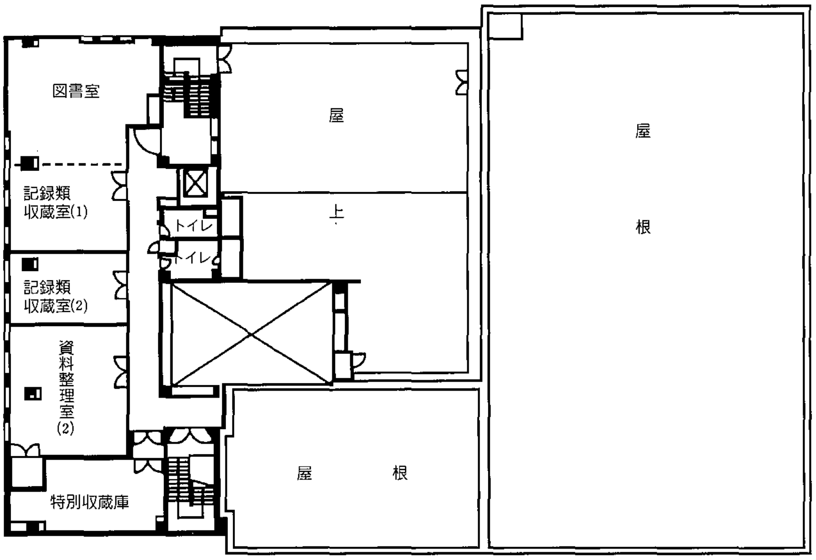
エレベーター機械室	39㎡



1階平面図



2階平面図

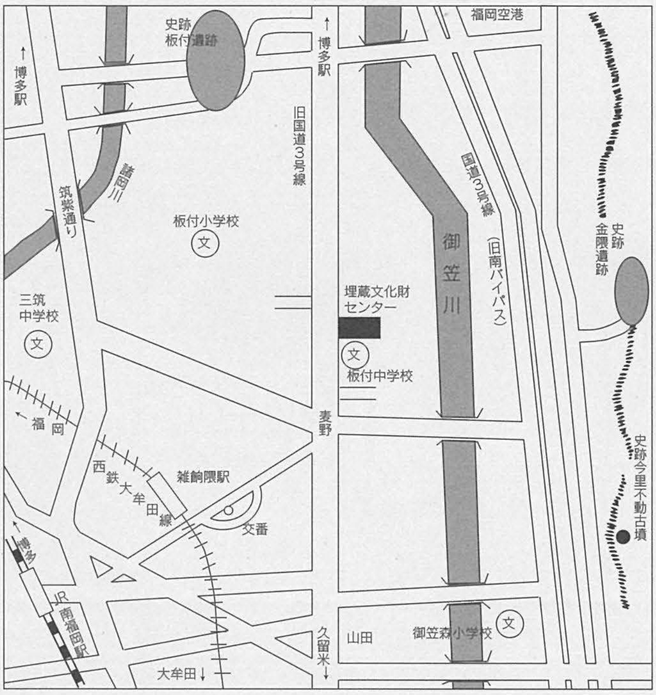


3階平面図

FUKUOKA CITY
ARCHAEOLOGICAL CENTER

Annual Report

No.16
1997



住　　所　〒816-0081 福岡市博多区井相田2-1-94
Tel.(092) 571-2921・Fax. (092) 571-2825
開館時間　9:00～17:00(入館は16:30分まで)
休 館 日　毎週月曜日・年末年始(12月28日～1月4日)
入 館 料　無　料(但し、団体で見学される場合はあらかじめご連絡ください。)
交　　通
■ 西鉄大牟田線 雑餉隈(ざっしょのくま)駅から徒歩約15分
■ JR鹿児島本線 南福岡駅から徒歩25分
■ 西鉄ﾊﾞｽ(行先番号41番)
板付中学校前(埋蔵文化財ｾﾝﾀｰ前)下車

福岡市埋蔵文化財センター年報
第16号

平成9 (1997) 年12月3日

発行　福岡市教育委員会
福岡市中央区天神1丁目1-8-1

印刷　株式会社 重富印刷
前原市大字前原1390